

注3

大学番号：076

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

事前伺い

長崎大学 情報データ科学部 情報データ科学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人長崎大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

総務部総務企画課企画室企画班

主査（企画）・美濃 若菜

総合生産科学域事務部西地区事務課総務第一係

係長・高山 清隆

電話番号 095-819-2014

（夜間） 095-819-2014

F A X 095-819-2024

e-mail soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

情報データ科学部

＜情報データ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 長崎大学

(2) 大学名 長崎大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒852-8521
長崎県長崎市文教町1番14号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(コウノ シゲル) 河野 茂 (平成29年10月)	—	
学部長	(ニシイ リュウエイ) 西井 龍映 (令和2年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報データ科学部 情報データ科学科 学士(情報データ科学)	理学関係 工学関係	4年	110人	— 年次 —人	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	110人 (—) [—]	—人 (—) [—]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.05倍	—倍	
志願者数	377 (—) [14]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	268 (—) [10]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	120 (—) [6]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	116 (—) [6]	— (—) [—]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.05										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	116 [6] (-)	— [—] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			116 [6] (—)	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	116 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和 年度の退学者数(a)}}{\text{令和 年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
多様性と共生	コミュニケーションの生物学	地域文化と保健医療 脳の成り立ちと働き 脳神経の病気	2④ 2③ 2④	2 2 2							4 4 4	
	エビジェネティクスと生命	エビジェネティクス	2③	2							3	
		発がん・がん治療とエビジェネティクス エビジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療	2① 2④	2 2							3 1	
	青壮年期における健康課題	育児リテラシー入門 仕事と健康 青年期の健康・体力増進	2③ 2① 2④	2 2 2							3 2 3	
		ハンディキャップの理解	共生へのチャレンジ 老いと健康 障害体験と支援	2④ 2③ 2④	2 2 2							2 2 3
			現代経済と企業活動c	国際社会と日本経済 社会制度と経済活動 経営情報と会計情報	2① 2③ 2①	2 2 2						
	現代経済と企業活動d			企業行動と戦略 社会制度と経済活動 経営情報と会計情報	2③ 2① 2①	2 2 2						
		変わり行く社会を生きる2		芸術活動と社会 音楽と社会 文字と社会	2③ 2④ 2①	2 2 2			1			
			多様性社会を考える	異文化比較：日本と欧米文化 異文化理解の実際 長崎における異文化交流	2① 2③ 2④	2 2 2						
	食の安全と持続的な海洋食料資源の利用			生物から見た水産業 人から見た水産業 海洋食料資源の応用	2① 2後 2後	2 2 2						
		海洋生態系の保全と管理		海洋の生物と科学 海洋環境と保全 環境関連法とアセスメント	2① 2① 2③	2 2 2						
			社会と文化の多様性	世界の中のヨーロッパ 宗教から見たアジア 世界のことばの多様性	2① 2③ 2④	2 2 2						
	文化の交流と共生			文化人類学でみる世界と日本 国際関係論 アジアにおける人の移動と日本	2③ 2④ 2①	2 2 2						
		口と医療		口と疾患 口腔から始まる健康 先端医療・再生医療	2① 2③ 2④	2 2 2						
			口腔健康管理と審美	食の科学 審美 ライフステージに合わせた口腔健康管理	2③ 2④ 2①	2 2 2						
	安全で安心できる社会と環境・事故・災害			公害環境問題と社会 水環境の安全と安心 近年の災害リスクと技術	2③ 2② 2④	2 2 2						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
多様性と共生	コミュニケーションの生物学	地域文化と保健医療 脳の成り立ちと働き 脳神経の病気	2④ 2③ 2④	2 2 2							4 4 4	
	エビジェネティクスと生命	エビジェネティクス	2③	2							3	
		発がん・がん治療とエビジェネティクス エビジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療	2① 2④	2 2							3 1	
	青壮年期における健康課題	育児リテラシー入門 仕事と健康 青年期の健康・体力増進	2③ 2① 2④	2 2 2							3 2 3	
		ハンディキャップの理解	共生へのチャレンジ 老いと健康 障害体験と支援	2④ 2③ 2④	2 2 2							2 2 3
			現代経済と企業活動c	国際社会と日本経済 社会制度と経済活動 経営情報と会計情報	2① 2③ 2①	2 2 2						
	現代経済と企業活動d			企業行動と戦略 社会制度と経済活動 経営情報と会計情報	2③ 2① 2①	2 2 2						
		変わり行く社会を生きる2		芸術活動と社会 音楽と社会 文字と社会	2③ 2④ 2①	2 2 2				1		
			多様性社会を考える	異文化比較：日本と欧米文化 異文化理解の実際 長崎における異文化交流	2① 2③ 2④	2 2 2						
	食の安全と持続的な海洋食料資源の利用			生物から見た水産業 人から見た水産業 海洋食料資源の応用	2① 2後 2後	2 2 2						
		海洋生態系の保全と管理		海洋の生物と科学 海洋環境と保全 環境関連法とアセスメント	2① 2① 2③	2 2 2						
			社会と文化の多様性	世界の中のヨーロッパ 宗教から見たアジア 世界のことばの多様性	2① 2③ 2④	2 2 2						
	文化の交流と共生			文化人類学でみる世界と日本 国際関係論 アジアにおける人の移動と日本	2③ 2④ 2①	2 2 2						
		口と医療		口と疾患 口腔から始まる健康 先端医療・再生医療	2① 2③ 2④	2 2 2						
			口腔健康管理と審美	食の科学 審美 ライフステージに合わせた口腔健康管理	2③ 2④ 2①	2 2 2						
	安全で安心できる社会と環境・事故・災害			公害環境問題と社会 水環境の安全と安心 近年の災害リスクと技術	2③ 2② 2④	2 2 2						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
モジュール科目	学部モジュール科目	微分積分学Ⅰ	1前	2							
		微分積分学Ⅱ	1後	2			1				
		微分積分学Ⅲ	2後	2			1				
		線形代数学Ⅰ	1前	2			1				
		線形代数学Ⅱ	1後	2			1				
		小計(5科目)	—	10	0	0	1	2	0	1	0
教養教育科目	自由選択科目	日本国憲法	1①②④	2							2
		モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス	1前	2							1
		芸術と文化	1③	2							1
		市民社会と法	1③	2							1
		ボランティアを通して地域を知る	1②	2							4
		English for Specific Purposes (A)	1前	1							1
		English for Specific Purposes (B)	1後	1							1
		上級外国語(フランス語)	3①	1							1
		上級外国語(中国語)	3②	1							1
		上級外国語(韓国語)	3①	1							1
		オランダの言語	1前	2							1
		オランダの文化	1後	2							1
		平和講座	1②	2							4
		自己表現法	1②	2							1
		解放講座	1前・後	2							1
		社会生活における情報活用術	1④	2			1				2
		平成長崎塾	1前	2							4
		自分のキャリアを考える講座～男女共同参画とダイバーシティの視点から～	1①	2							4
		キャリア実践	1前	2							1
		物理科学	1①	2							1
		生物の科学	1前・③	2							1
		データの科学	1④	2							1
		全学乗船実習	1・2後	2							1
		開発協力論	1前	2							1
		現代アジア社会の諸問題—政治経済・宗教・文化を中心に	1③	2							2
		研究倫理とコンプライアンス	1①	2							4
		現代社会を生きる	1②	2							1
		キャリア交流	1③	2							2
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	1・2後	2							2
		特別な支援を必要とする子どもの理解	1・2前	2							9
		生徒・進路指導論	1・2前	2							3
		教育方法・技術論	2前	2							1
		Asia and Japan in Modern and Contemporary History	1①	2							1
		Globalization and Health in Nagasaki/Japan	1③	2							1
		Sport Communication and Coaching in Touch Rugby	1①	2							1
		Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment	1②	2							1
		Toward a Nuclear Weapon Free-World	1④	2							1
		Nagasaki Studies I	1③	2							1
		Nagasaki Studies II	1④	2							1
		Development Cooperation and Global Health	1④	2							1
		海外English Camp(A)	1前	2							1
		海外English Camp(B)	1後	2							1
	小計(42科目)	—	0	79	0	0	1	0	0	59	
留学生用科目		日本語上級Ⅰ	1前	2						1	
		日本語上級Ⅱa	1前	2						2	
		日本語上級Ⅱb	1後	2						2	
		日本事情	1後	2						1	
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	5

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
モジュール科目	学部モジュール科目	微分積分学Ⅰ	1前	2			1				
		微分積分学Ⅱ	1後	2			1				
		微分積分学Ⅲ	2後	2			1				
		線形代数学Ⅰ	1前	2			1				
		線形代数学Ⅱ	1後	2			1				
		小計(5科目)	—	10	0	0	1	2	0	0	0
教養教育科目	自由選択科目	日本国憲法	1①②④	2							2
		モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス	1前	2							1
		芸術と文化	1③	2							1
		市民社会と法	1③	2							1
		ボランティアを通して地域を知る	1②	2							4
		English for Specific Purposes (A)	1前	1							1
		English for Specific Purposes (B)	1後	1							1
		上級外国語(フランス語)	3①	1							1
		上級外国語(中国語)	3②	1							1
		上級外国語(韓国語)	3①	1							1
		オランダの言語	1前	2							1
		オランダの文化	1後	2							1
		平和講座	1②③	2							4
		自己表現法	1②	2							1
		解放講座	1前・後	2							1
		社会生活における情報活用術	1④	2			1				2
		平成長崎塾	1前	2							4
		自分のキャリアを考える講座～男女共同参画とダイバーシティの視点から～	1①	2							3
		キャリア実践	1前	2							1
		物理科学	1①	2							1
		生物の科学	1前・③	2							1
		データの科学	1④	2							1
		全学乗船実習	1・2後	2							1
		現代アジア社会の諸問題—政治経済・宗教・文化を中心に	1③	2							2
		研究倫理とコンプライアンス	1③	2							4
		現代社会を生きる	1②	2							1
		キャリア交流	1③	2							2
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	1・2後	2							2
		特別な支援を必要とする子どもの理解	1・2前	2							9
		生徒・進路指導論	1・2前	2							3
		教育方法・技術論	2前	2							1
		Asia and Japan in Modern and Contemporary History	1①	2							1
		Globalization and Health in Nagasaki/Japan	1③	2							1
		Sport Communication and Coaching in Touch Rugby	1①	2							1
		Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment	1②	2							1
		Toward a Nuclear Weapon Free-World	1④	2							1
		Nagasaki Studies I	1③	2							1
		Nagasaki Studies II	1④	2							1
		Development Cooperation and Global Health	1④	2							1
		海外English Camp(A)	1前	2							1
		海外English Camp(B)	1後	2							1
			哲学	1前	2						1
	今と昔の長崎に遊ぶ	1前	2						2		
	アントレプレナーシップ入門	1①	2						1		
	アイデア創出・デザイン思考入門	1②	2						2		
	経験学習実践論	1②	1						3		
	小計(46科目)	—	0	86	0	0	1	0	0	68	
留学生用科目		日本語上級Ⅰ	1前	2						1	
		日本語上級Ⅱa	1前	2						2	
		日本語上級Ⅱb	1後	2						2	
		日本事情	1後	2						1	
		小計(4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	4

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
情報学基礎科目	基礎数学	1後	2			1					
		1後	2			1					
	コンピュータ科学	コンピュータ入門	1前	2			1				
		プログラミング概論	1後	2					1		
		プログラミング演習Ⅰ	1後	2			1		1		
		プログラミング演習Ⅱ	2前	2					1		
		情報科学技術	1前	2					1		
		情報基礎数学	1①	1				1			
		情報理論	2前	2	2			1			
		情報ネットワークⅠ	2前	2			1				
		情報ネットワークⅡ	2③	1			1				
		コンパイラ	2④	1			1				
		グラフ理論と最適化	2前	2				1			
		オートマトンと言語理論	2③	2				1			
		情報セキュリティⅠ	3①	1					1		
		オペレーティングシステムⅠ	3①	1			1				
		オペレーティングシステムⅡ	3②	1			1				
		画像処理	3前	2				1			
		HCI	3後	2			1				
		マシンビジョン	3後	2			1				
音響音声学	3後	2					1				
認知システム論A	3前	2				1					
認知システム論B	3後	2				1					
小計(23科目)			20	20	0	5	4	0	3	0	
コミュニケーション	情報メディア論	1後	2			1					
	デザイン情報学Ⅰ	3前	2			1					
	デザイン情報学Ⅱ	3後	2			1					
	工学倫理	2前	2						1		
	安全工学	2②	1						1		
	技術英語Ⅰ	2後	1				1				
	技術英語Ⅱ	3前	1				1				
	技術英語Ⅲ	3後	1			1					
	技術英語Ⅳ	4前	1			1					
	プロジェクト研究	3通	1			1					
	経営管理	4①	1						1		
	産業経済学	4②	1						1		
	実社会課題解決プロジェクトA	1通	1				1		1		
	実社会課題解決プロジェクトB	2通	1				1		1		
	実社会課題解決プロジェクトC	3通	1				1		1		
	実社会課題解決プロジェクトD	4通	1				1		1		
小計(16科目)			6	14	0	2	2	0	1	3	
情報セキュリティ系科目	情報数学Ⅰ	2③	1					1			
	情報数学Ⅱ	2④	1					1			
	情報数学Ⅲ	3①	1				1				
	情報数学Ⅳ	3②	1				1				
	情報セキュリティⅡ	3②	1					1			
	情報セキュリティⅢ	3③	1				1				
	ネットワークセキュリティ	3④	1						1		
小計(7科目)			0	7	0	0	1	0	2	1	
AI系科目	ビッグデータ分析	3前	2			1					
	ビッグデータ分析演習	3前	2			1					
	パターン認識と機械学習	3後	2			1					
	パターン認識と機械学習演習	3後	2			1					
	人工知能	4前	2			1					
	人工知能演習	4前	2			1					
小計(6科目)			0	12	0	0	3	0	0	0	
応用系専門科目	論理回路	2①	1			1					
	ソフトウェア工学	3①	2			1					
	並列分散処理	3③	2			1					
	データベース	2後	2				1				
	コンピュータアーキテクチャⅠ	2②	1			1					
	コンピュータアーキテクチャⅡ	3④	1			1					
	デジタル信号処理Ⅰ	2①	2			1					
	デジタル信号処理Ⅱ	2②	2			1					
	組み込みシステム	2③	1					1			
	制御工学	3後	2			1					
小計(10科目)			0	16	0	3	1	0	1	0	
情報技術実践系科目	データ構造とアルゴリズム	2後	2			1					
	プログラミング言語論	3前	2					1			
	プログラミング演習Ⅲ	2後	1			1					
	プログラミング演習Ⅳ	3前	2					1			
	情報工学実験Ⅰ	2③	1			1			1		
	情報工学実験Ⅱ	2④	1			1			1		
	情報工学実験Ⅲ	3前	2				2		1		
	情報工学実験Ⅳ	3③	1			1			1		
小計(8科目)			0	12	0	3	2	0	2	0	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
情報学基礎科目	基礎数学	1後	2			1					
		1後	2			1					
	コンピュータ科学	コンピュータ入門	1前	2			1				
		プログラミング概論	1後	2						1	
		プログラミング演習Ⅰ	1後	2			1			1	
		プログラミング演習Ⅱ	2前	2						1	
		情報科学技術	1前	2					1	0	
		情報基礎数学	1①	1				1			
		情報理論	2前	2	2			1			
		情報ネットワークⅠ	2前	2			1				
		情報ネットワークⅡ	2③	1			1				
		コンパイラ	2④	1			1				
		グラフ理論と最適化	2前	2				1			
		オートマトンと言語理論	2③	2				1			
		情報セキュリティⅠ	3①	1					1	0	
		オペレーティングシステムⅠ	3①	1			1				
		オペレーティングシステムⅡ	3②	1			1				
		画像処理	3前	2				1			
		HCI	3後	2			1				
		マシンビジョン	3後	2			1				
音響音声学	3後	2					1				
認知システム論A	3前	2				1					
認知システム論B	3後	2				1					
小計(23科目)			20	20	0	5	5	0	2	0	
コミュニケーション	情報メディア論	1後	2			1					
	デザイン情報学Ⅰ	3前	2			1					
	デザイン情報学Ⅱ	3後	2			1					
	工学倫理	2前	2						1		
	安全工学	2②	1						1		
	技術英語Ⅰ	2後	1				1				
	技術英語Ⅱ	3前	1				1				
	技術英語Ⅲ	3後	1			1					
	技術英語Ⅳ	4前	1			1					
	プロジェクト研究	3通	1			1					
	経営管理	4①	1						1		
	産業経済学	4②	1						1		
	実社会課題解決プロジェクトA	1通	1				1		1		
	実社会課題解決プロジェクトB	2通	1				1		1		
	実社会課題解決プロジェクトC	3通	1				1		1		
	実社会課題解決プロジェクトD	4通	1				1		1		
小計(16科目)			6	14	0	2	2	0	1	3	
情報セキュリティ系科目	情報数学Ⅰ	2③	1					1	0		
	情報数学Ⅱ	2④	1					1	0		
	情報数学Ⅲ	3①	1				1				
	情報数学Ⅳ	3②	1				1				
	情報セキュリティⅡ	3②	1					1	0		
	情報セキュリティⅢ	3③	1				1				
	ネットワークセキュリティ	3④	1							1	
小計(7科目)			0	7	0	0	2	0	0	1	
AI系科目	ビッグデータ分析	3前	2			1					
	ビッグデータ分析演習	3前	2			1					
	パターン認識と機械学習	3後	2			1					
	パターン認識と機械学習演習	3後	2			1					
	人工知能	4前	2			1					
	人工知能演習	4前	2			1					
小計(6科目)			0	12	0	0	3	0	0	0	
応用系専門科目	論理回路	2①	1			1					
	ソフトウェア工学	3①	2			1					
	並列分散処理	3③	2			1					
	データベース	2後	2				1				
	コンピュータアーキテクチャⅠ	2②	1			1					
	コンピュータアーキテクチャⅡ	3④	1			1					
	デジタル信号処理Ⅰ	2①	2			1					
	デジタル信号処理Ⅱ	2②	2			1					
	組み込みシステム	2③	1					1			
	制御工学	3後	2			1					
小計(10科目)			0	16	0	3	1	0	1	0	
情報技術実践系科目	データ構造とアルゴリズム	2後	2			1					
	プログラミング言語論	3前	2					1			
	プログラミング演習Ⅲ	2後	1			1					
	プログラミング演習Ⅳ	3前	2					1			
	情報工学実験Ⅰ	2③	1			1			1		
	情報工学実験Ⅱ	2④	1			1			1		
	情報工学実験Ⅲ	3前	2				2		1		
	情報工学実験Ⅳ	3③	1			1			1		
小計(8科目)			0	12	0	3	2	0	2	0	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
データサイエンス 専門教育科目	統計学系科目	探索的記述統計	2前	2		1					
		情報統計学	2後	2		1					
		基礎データ分析演習	2前	2		1					
		応用データ分析演習	2後	2		1					
		多変量解析	2後	2		1					
		数理統計学	3前	2		1					
		ベイズ統計学	3後	2		1					
	小計(7科目)	—	0	14	0	3	2	0	0	0	
	応用系専門科目	社会・観光情報学Ⅰ	2後	2		1					
		社会・観光情報学Ⅱ	3前	2		1					
		社会・観光情報学Ⅲ	3後	2		1					
		医療・生命情報学Ⅰ	2後	2		1					
		医療・生命情報学Ⅱ	3前	2		1					
		医療・生命情報学Ⅲ	3後	2		1					
小計(6科目)	—	0	12	0	3	2	0	0	0		
卒業研究	4通	8			10	9	0	0	0		
小計(1科目)	—	8	0	0	10	9	0	0	0		
合計(271科目)	—	55	428	0	10	9	0	6	0		
卒業要件及び履修方法											
<p>(卒業要件) 本学部に4年以上在学し、かつ126単位を修得することとする。 履修コースごとの必要単位は、以下のとおりである。</p> <p>1. 教養教育科目(各履修コース共通) 40単位以上 (1)教養ゼミナール科目 1単位 (2)情報科学科目 2単位 (3)健康・スポーツ科学科目 1～2単位 キャリア教育科目で1単位修得した場合は1単位、キャリア教育科目で0単位の修得の場合は2単位を修得する。 (4)キャリア教育科目 0～1単位 健康・スポーツ科学科目で1単位修得した場合は1単位、健康・スポーツ科学科目で2単位修得した場合は0単位 (5)地域科学科目 1単位 (6)外国語科目 ①英語 6単位、②初習外国語 4単位(ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語から1言語を選択。) (7)全学モジュールⅠ科目 6単位(1テーマを選択し、3科目(6単位)を修得する。) (8)全学モジュールⅡ科目 6単位(1テーマを選択し、3科目(6単位)を修得する。) (9)学部モジュール科目 10単位 (10)自由選択科目 2単位</p> <p>2. 専門教育科目 合計86単位以上</p> <p>○インフォメーションサイエンスコース (1)必修科目:58単位(「数理・データサイエンス」、「確率・統計」、「コンピュータ入門」、「プログラミング概論」、「プログラミング演習Ⅰ、Ⅱ」、「情報科学技術」、「情報基礎数学」、「情報ネットワークⅠ」、「オートマトンと言語理論」、「情報セキュリティⅠ」、「オペレーティングシステムⅠ、Ⅱ」、「工学倫理」、「安全工学」、「技術英語Ⅰ」、「実社会課題解決プロジェクトA、B」、「情報数学Ⅰ、Ⅱ」、「論理回路」、「ソフトウェア工学」、「データベース」、「コンピュータアーキテクチャⅠ」、「デジタル信号処理Ⅰ、Ⅱ」、「データ構造とアルゴリズム」、「プログラミング演習Ⅲ、Ⅳ」、「情報工学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」、「卒業研究」) (2)選択科目:選択科目の中から、28単位以上</p> <p>○データサイエンスコース (1)必修科目:52単位(「数理・データサイエンス」、「確率・統計」、「コンピュータ入門」、「プログラミング概論」、「プログラミング演習Ⅰ、Ⅱ」、「情報科学技術」、「情報基礎数学」、「情報ネットワークⅠ」、「オートマトンと言語理論」、「情報セキュリティⅠ」、「工学倫理」、「安全工学」、「技術英語Ⅰ」、「実社会課題解決プロジェクトA、B」、「ビッグデータ分析」、「ビッグデータ分析演習」、「パターン認識と機械学習」、「パターン認識と機械学習演習」、「探索的記述統計」、「情報統計学」、「基礎データ分析演習」、「応用データ分析演習」、「多変量解析」、「卒業研究」) (2)選択必修科目:6単位(「社会・観光情報学Ⅰ～Ⅲ」又は「医療・生命情報学Ⅰ～Ⅲ」から1分野を選択し、3科目(6単位)を修得する。) (3)選択科目:選択科目の中から、28単位以上</p> <p>履修登録上限単位数 48単位(1学年あたり)</p>											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
データサイエンス 専門教育科目	統計学系科目	探索的記述統計	2前	2		1					
		情報統計学	2後	2		1					
		基礎データ分析演習	2前	2		1					
		応用データ分析演習	2後	2		1					
		多変量解析	2後	2		1					
		数理統計学	3前	2		1					
		ベイズ統計学	3後	2		1					
	小計(7科目)	—	0	14	0	3	2	0	0	0	
	応用系専門科目	社会・観光情報学Ⅰ	2後	2		1					
		社会・観光情報学Ⅱ	3前	2		1					
		社会・観光情報学Ⅲ	3後	2		1					
		医療・生命情報学Ⅰ	2後	2		1					
		医療・生命情報学Ⅱ	3前	2		1					
		医療・生命情報学Ⅲ	3後	2		1					
小計(6科目)	—	0	12	0	3	2	0	0	0		
卒業研究	4通	8			10	9	0	0	0		
小計(1科目)	—	8	0	0	10	13	0	0	0		
合計(275科目)	—	55	435	0	10	13	0	4	0		
卒業要件及び履修方法											
<p>(卒業要件) 本学部に4年以上在学し、かつ126単位を修得することとする。 履修コースごとの必要単位は、以下のとおりである。</p> <p>1. 教養教育科目(各履修コース共通) 40単位以上 (1)教養ゼミナール科目 1単位 (2)情報科学科目 2単位 (3)健康・スポーツ科学科目 1～2単位 キャリア教育科目で1単位修得した場合は1単位、キャリア教育科目で0単位の修得の場合は2単位を修得する。 (4)キャリア教育科目 0～1単位 健康・スポーツ科学科目で1単位修得した場合は1単位、健康・スポーツ科学科目で2単位修得した場合は0単位 (5)地域科学科目 1単位 (6)外国語科目 ①英語 6単位、②初習外国語 4単位(ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語から1言語を選択。) (7)全学モジュールⅠ科目 6単位(1テーマを選択し、3科目(6単位)を修得する。) (8)全学モジュールⅡ科目 6単位(1テーマを選択し、3科目(6単位)を修得する。) (9)学部モジュール科目 10単位 (10)自由選択科目 2単位</p> <p>2. 専門教育科目 合計86単位以上</p> <p>○インフォメーションサイエンスコース (1)必修科目:58単位(「数理・データサイエンス」、「確率・統計」、「コンピュータ入門」、「プログラミング概論」、「プログラミング演習Ⅰ、Ⅱ」、「情報科学技術」、「情報基礎数学」、「情報ネットワークⅠ」、「オートマトンと言語理論」、「情報セキュリティⅠ」、「オペレーティングシステムⅠ、Ⅱ」、「工学倫理」、「安全工学」、「技術英語Ⅰ」、「実社会課題解決プロジェクトA、B」、「情報数学Ⅰ、Ⅱ」、「論理回路」、「ソフトウェア工学」、「データベース」、「コンピュータアーキテクチャⅠ」、「デジタル信号処理Ⅰ、Ⅱ」、「データ構造とアルゴリズム」、「プログラミング演習Ⅲ、Ⅳ」、「情報工学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」、「卒業研究」) (2)選択科目:選択科目の中から、28単位以上</p> <p>○データサイエンスコース (1)必修科目:52単位(「数理・データサイエンス」、「確率・統計」、「コンピュータ入門」、「プログラミング概論」、「プログラミング演習Ⅰ、Ⅱ」、「情報科学技術」、「情報基礎数学」、「情報ネットワークⅠ」、「オートマトンと言語理論」、「情報セキュリティⅠ」、「工学倫理」、「安全工学」、「技術英語Ⅰ」、「実社会課題解決プロジェクトA、B」、「ビッグデータ分析」、「ビッグデータ分析演習」、「パターン認識と機械学習」、「パターン認識と機械学習演習」、「探索的記述統計」、「情報統計学」、「基礎データ分析演習」、「応用データ分析演習」、「多変量解析」、「卒業研究」) (2)選択必修科目:6単位(「社会・観光情報学Ⅰ～Ⅲ」又は「医療・生命情報学Ⅰ～Ⅲ」から1分野を選択し、3科目(6単位)を修得する。) (3)選択科目:選択科目の中から、28単位以上</p> <p>履修登録上限単位数 48単位(1学年あたり)</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・科目の教育体制充実のため、「初年次セミナー」の専任教員の配置を「准教授9名」から「准教授11名」に変更。
- ・科目の教育体制充実のため、「情報基礎」の担当教員の配置を「兼任・兼任教員2名」から専任教員「助教1名」に変更。
- ・教養教育課程の見直しのため、「健康科学」の配当年次を「1年①」から「1年③」に変更。また、科目の教育体制充実のため、担当教員の配置を「兼任・兼任教員7名」から「兼任・兼任教員8名」に変更。
- ・科目の教育体制充実のため、「キャリア入門」の担当教員の配置を「兼任・兼任教員3名」から「兼任・兼任教員6名」に変更。
- ・科目の教育体制充実のため、「中国語Ⅰ」の担当教員の配置を「兼任・兼任教員1名」から「兼任・兼任教員2名」に変更。
- ・担当教員辞職のため、「微分積分学Ⅰ」の専任教員の配置を「助教1名」から「教授1名」に変更。
- ・学生の科目履修の機会を増大するため、「平和講座」の配当年次を「1年②」から「1年②③」に変更。
- ・科目の教育体制見直しのため、「自分のキャリアを考える講座～男女共同参画とダイバーシティの視点から～」の担当教員の配置を「兼任・兼任教員4名」から「兼任・兼任教員3名」に変更。
- ・教養教育課程の見直しのため、「研究倫理とコンプライアンス」の配当年次を「1年①」から「1年③」に変更。
- ・科目の教育体制充実のため、「生徒・進路指導」の担当教員の配置を「兼任・兼任教員2名」から「兼任・兼任教員3名」に変更。
- ・学生に対し、より幅広い分野の科目を提供し、教育効果を高めるため、「哲学」を新規開設。
- ・学生に対し、より幅広い分野の科目を提供し、教育効果を高めるため、「今と昔の長崎に遊ぶ」を新規開設。
- ・学生に対し、より幅広い分野の科目を提供し、教育効果を高めるため、「アントレプレナーシップ入門」を新規開設。
- ・学生に対し、より幅広い分野の科目を提供し、教育効果を高めるため、「アイデア創出・デザイン思考入門」を新規開設。
- ・学生に対し、より幅広い分野の科目を提供し、教育効果を高めるため、「経験学習実践論」を新規開設。
- ・担当教員の昇任のため、「情報科学技術」の専任教員の配置を「助教1名」から「准教授1名」に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「情報セキュリティⅠ」の専任教員の配置を「助教1名」から「准教授1名」に変更。
- ・担当教員辞職のため、「情報数学Ⅰ」の専任教員の配置を「助教1名」から「准教授1名」に変更。
- ・担当教員辞職のため、「情報数学Ⅱ」の専任教員の配置を「助教1名」から「准教授1名」に変更。
- ・担当教員の昇任のため、「情報セキュリティⅡ」の専任教員の配置を「助教1名」から「准教授1名」に変更。
- ・科目の教育体制充実のため、「卒業研究」の専任教員の配置を「准教授9名」から「准教授13名」に変更。

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	239 科目	0 科目	271 科目	32 科目 [-]	243 科目 [4]	0 科目 [-]	275 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	開発協力論	2	1前	一般	選択	教養教育科目において、教育効果を高めるため授業科目の見直しを行った。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教養教育科目において、「開発協力論」を廃止し、より専門性が高く、幅広い学習領域の授業科目5科目（「哲学」、「今と昔の長崎に遊ぶ」、「アントレプレナーシップ入門」、「アイデア創出・デザイン思考入門」、「経験学習実践論」）を新たに開講した。教養教育科目の目的は達成していると考え。学生には履修案内や学務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{1}{271} = \boxed{0.36} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計						
	校舎敷地	270,806 m ² 274,716 m²	0 m ²	0 m ²	270,806 m ² 274,716 m²	229 借用面積106m ²					
	運動場用地	112,106 m ² 101,030 m²	0 m ² 12,748 m²	0 m ²	112,106 m ² 113,778 m²						
	小 計	382,912 m ² 375,746 m²	0 m ² 12,748 m²	0 m ²	382,912 m ² 388,494 m²						
	そ の 他	279,977 m ² 167,053 m²	0 m ² 107,538 m²	0 m ²	279,977 m ² 274,591 m²	借用面積3,190m ²					
	合 計	662,889 m ² 542,799 m²	0 m ² 120,286 m²	0 m ²	662,889 m ² 663,085 m²	文教町2団地の南側の駐車場整備等による変動及び九州地区国立大学島原共同研修センター閉所に伴う共用区分から専用区分への変更。 (2)					
(2) 校舎	専 用	193,463 m ² 182,273 m²	(0m ²)	(0m ²)	193,463 m ² 182,273 m²	歯学部本館改修、工学部2号館改修、教育学部本館改修(情報データ科学部)に伴い建物内の区分の変更があったため。(2)					
	(193,463m ²)	(0m ²)	(0m ²)	(193,463m ²)							
(3) 教室等	講義室	114 室 100 室	演習室	220 室 243 室	実験実習室	499 室 487 室	情報処理学習施設	25 室 26 室	語学学習施設	6 室	大学全体
						(補助職員 3人)	(補助職員 1人)	歯学部本館改修、工学部2号館改修、教育学部本館改修(情報データ科学部)に伴い建物内の区分の変更があったため。(2)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	情報データ科学部 情報データ科学科				26 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数			
	情報データ科学部	1,035,000 [298,000] 1,057,000 [307,000]	25,100 [7,400] 25,500 [7,600]	27,800 [26,000] 9,700 [8,900]	6,420 7,190	13,825 13,075	78	【図書・学術雑誌、視聴覚資料】 令和2年5月1日現在の数値に変更(2)			
	情報データ科学科	(1,027,000 [297,000]) (1,036,000 [301,000])	25,000 [7,400] (25,100 [7,400])	21,800 [20,500] (12,900 [11,900])	(6,060) (6,780)	(13,825) (13,075)	(78)	【機械・器具】 新規取得による増加(2)			
	計	1,035,000 [298,000] 1,057,000 [307,000]	25,100 [7,400] 25,500 [7,600]	27,800 [26,000] 9,700 [8,900]	6,420 7,190	13,825 13,075	78				
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	10,735 m ²		1,307 1,316		969,638 964,055		令和2年5月1日現在の数値に変更(2)				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	12,541m ²		弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、プール等								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学										備考																																				
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地																																					
【学部】	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度																																					
多文化社会学部 多文化社会学科	4	100	—	400	学士(多文化社会学)	1.03	1.01	—	平成26年度	長崎市文教町1-14																																					
教育学部 学校教育教員養成課程	4	180	—	900	学士(教育学)	1.00	1.00	—	平成10年度	長崎市文教町1-14	令和2年4月定員変更(△60)																																				
経済学部 経済総合学科 昼間コース 夜間主コース	4 4	265 60	10 5	1,080 250	学士(経済学)	1.03 1.04	1.02 1.00	—	平成9年度	長崎市片淵4-2-1																																					
医学部 医学科 保健学科	6 4	120 106	5 10	739 444	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健学)	1.00 1.00	1.00 1.00	令和2年度 —	昭和24年度 平成13年度	長崎市坂本1-12-4 長崎市坂本1-7-1	令和2年度の医学部医学科の入学定員の増員(25)は令和3年度までの臨時増である。また、令和2年度における収容定員は739人である。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(人)</th> <th>入学定員</th> <th>編入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>120</td> <td>5</td> <td>739</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>120</td> <td>5</td> <td>743</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>95</td> <td>5</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>95</td> <td>5</td> <td>695</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>95</td> <td>5</td> <td>670</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>95</td> <td>5</td> <td>645</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>95</td> <td>5</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>95</td> <td>5</td> <td>595</td> </tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	編入学定員	収容定員	令和2年度	120	5	739	令和3年度	120	5	743	令和4年度	95	5	720	令和5年度	95	5	695	令和6年度	95	5	670	令和7年度	95	5	645	令和8年度	95	5	620	令和9年度	95	5	595
(人)	入学定員	編入学定員	収容定員																																												
令和2年度	120	5	739																																												
令和3年度	120	5	743																																												
令和4年度	95	5	720																																												
令和5年度	95	5	695																																												
令和6年度	95	5	670																																												
令和7年度	95	5	645																																												
令和8年度	95	5	620																																												
令和9年度	95	5	595																																												
歯学部 歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和54年度	長崎市坂本1-7-1																																					
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	— —	240 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.03 1.04	1.10 1.05	— —	平成18年度 昭和61年度	長崎市文教町1-14 同上																																					
情報データ科学部 情報データ科学科	4	110	—	110	学士(情報データ科学)	1.05	1.05	令和2年度	令和2年度	長崎市文教町1-14																																					
工学部 工学科	4	330	—	1,470	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成23年度	長崎市文教町1-14	令和2年4月定員変更(△50)																																				
環境科学部 環境科学科	4	130	5	530	学士(環境科学)	1.02	1.04	—	平成9年度	長崎市文教町1-14																																					
水産学部 水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.03	1.01	—	昭和48年度	長崎市文教町1-14																																					

大学の名称	長崎大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【研究科】 多文化社会学研究科											
(博士前期課程) 多文化社会学専攻	2	10	—	20	修士(学術)	1.00	1.00	—	平成30年度	長崎市文教町1-14	
(博士後期課程) 多文化社会学専攻	3	3	—	3	博士(学術)	1.33	1.33	令和2年度	令和2年度	同上	
教育学研究科											
(専門職学位課程) 教職実践専攻	2	28	—	56	教職修士(専門職)	1.21	1.28	—	平成20年度	長崎市文教町1-14	
経済学研究科											
(博士前期課程) 経済経営政策専攻	2	15	—	30	修士(経済学) 修士(経営学)	0.89	0.73	—	平成7年度	長崎市片淵4-2-1	
(博士後期課程) 経営意思決定専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	0.88	0.66	—	平成16年度	同上	
工学研究科											
(博士前期課程) 総合工学専攻	2	220	—	440	修士(工学)	0.98	0.95	—	平成23年度	長崎市文教町1-14	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士後期課程) 生産システム工学専攻	3	15	—	45	博士(工学)	0.81	0.66	—	平成23年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)	0.72	0.80	—	平成23年度	同上	
水産・環境科学総合研究科											
(博士前期課程) 水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	0.84	0.68	—	平成23年度	長崎市文教町1-14	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
環境科学専攻	2	25	—	50	修士(学術) 修士(環境科学)	0.96	0.76	—	平成27年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士後期課程) 環境海洋資源学専攻	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	0.72	0.58	—	平成23年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士課程) 海洋フィールド生命科学専攻	5	5	—	25	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	0.20	0.00	—	平成23年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。

大学の名称	長崎大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医歯薬学総合研究科											
(修士課程)											
保健学専攻	2	20	—	40	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.10	1.10	—	平成18年度	長崎市坂本1-7-1	
災害・被ばく医療科学共同専攻	2	10	—	20	修士(看護学) 修士(医科学)	0.80	0.30	—	平成28年度	長崎市坂本1-12-4	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士課程)											
医療科学専攻	4	60	—	240	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.05	1.00	—	平成14年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
新興感染症病態制御学系専攻	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.82	0.70	—	平成14年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
放射線医療科学専攻	4	5	—	20	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.95	0.80	—	平成14年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
先進予防医学共同専攻	4	10	—	40	博士(医学)	0.97	1.00	—	平成28年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士前期課程)											
生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.78	0.80	—	平成22年度	長崎市文教町1-14	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
(博士後期課程)											
生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	0.43	0.70	—	平成24年度	同上	令和2年10月入学者数は未定のため含まない。
熱帯医学・グローバルヘルス研究科											
(博士前期課程)											
グローバルヘルス専攻	2	37	—	62	修士(熱帯医学) 修士(公衆衛生学) 修士(医科学)	0.98	0.94	—	平成27年度	長崎市坂本1-12-4	10月入学のため、「平均入学定員超過率」は令和元年度と平成30年度の平均値。「令和2年度入学定員超過率」には、令和元年度の定員超過率を記載。
(博士後期課程)											
グローバルヘルス専攻	3	15	—	5	博士(グローバルヘルス)	1.20	0.80	平成30年度	平成30年度	同上	10月入学のため、「平均入学定員超過率」は令和元年度と平成30年度の平均値。「令和2年度入学定員超過率」には、令和元年度の定員超過率を記載。
長崎大学ーロンドン大学 衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	3	15	—	5	博士(グローバルヘルス)	1.00	1.00	平成30年度	平成30年度	同上	10月入学のため、「平均入学定員超過率」は令和元年度と平成30年度の平均値。「令和2年度入学定員超過率」には、令和元年度の定員超過率を記載。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部(学科)または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<情報データ科学部 情報データ科学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西井 龍映 博士(理学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 微分積分学Ⅱ 数理・データサイエンス 確率・統計 数理統計学 卒業研究
専	教授	植木 優夫 博士(環境学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 多変量解析 医療・生命情報学Ⅱ 卒業研究
専	教授	尾崎 友哉 博士(情報学) <令和2年4月>
		初年次セミナー コンピュータ入門 データ構造とアルゴリズム プログラミング演習Ⅲ 卒業研究
専	教授	金谷 一郎 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー デザイン情報学Ⅰ デザイン情報学Ⅱ 卒業研究
専	教授	喜安 千弥 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー マシンビジョン 技術英語Ⅲ 技術英語Ⅳ プロジェクト研究 デジタル信号処理Ⅰ デジタル信号処理Ⅱ 制御工学 卒業研究
専	教授	小林 透 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー ソフトウェア工学 並列分散処理 情報工学実験Ⅰ 卒業研究
専	教授	柴田 裕一郎 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 暮らしの中の情報科学 コンパイラ オペレーティングシステムⅠ オペレーティングシステムⅡ 論理回路 コンピュータアーキテクチャⅠ コンピュータアーキテクチャⅡ 情報工学実験Ⅱ 情報工学実験Ⅳ 卒業研究
専	教授	高田 英明 博士(国際情報通信学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 情報ネットワークⅠ 情報ネットワークⅡ HCI 卒業研究
専	教授	全 炳徳 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 探索的記述統計 基礎データ分析演習 社会・観光情報学Ⅱ 卒業研究

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西井 龍映 博士(理学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 数理・データサイエンス 確率・統計 数理統計学 卒業研究
専	教授	植木 優夫 博士(環境学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 多変量解析 医療・生命情報学Ⅱ 卒業研究
専	教授	尾崎 友哉 博士(情報学) <令和2年4月>
		初年次セミナー コンピュータ入門 データ構造とアルゴリズム プログラミング演習Ⅲ 卒業研究
専	教授	金谷 一郎 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー デザイン情報学Ⅰ デザイン情報学Ⅱ 卒業研究
専	教授	喜安 千弥 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー マシンビジョン 技術英語Ⅲ 技術英語Ⅳ プロジェクト研究 デジタル信号処理Ⅰ デジタル信号処理Ⅱ 制御工学 卒業研究
専	教授	小林 透 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー ソフトウェア工学 並列分散処理 情報工学実験Ⅰ 卒業研究
専	教授	柴田 裕一郎 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 暮らしの中の情報科学 コンパイラ オペレーティングシステムⅠ オペレーティングシステムⅡ 論理回路 コンピュータアーキテクチャⅠ コンピュータアーキテクチャⅡ 情報工学実験Ⅱ 情報工学実験Ⅳ 卒業研究
専	教授	高田 英明 博士(国際情報通信学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 情報ネットワークⅠ 情報ネットワークⅡ HCI 卒業研究
専	教授	全 炳徳 博士(工学) <令和2年4月>
		初年次セミナー 探索的記述統計 基礎データ分析演習 社会・観光情報学Ⅱ 卒業研究

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松永 昭一 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー プログラミング演習Ⅰ 情報理論
専	教授	持田 恵一 博士(理学) (令和3年4月)
		初年次セミナー 医療・生命情報学Ⅰ 医療・生命情報学Ⅲ 卒業研究
専	准教授	一藤 裕 博士(情報科学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 社会生活における情報活用術 社会・観光情報学Ⅰ 卒業研究
専	准教授	梅津 佑太 博士(機能数理学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 人工知能 人工知能演習 情報統計学 応用データ分析演習 卒業研究
専	准教授	神山 剛 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー ビッグデータ分析 ビッグデータ分析演習 データベース 卒業研究
専	准教授	酒井 智弥 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー オートマトンと言語理論 パターン認識と機械学習 パターン認識と機械学習演習 情報工学実験Ⅲ 卒業研究
専	准教授	瀬戸崎 典夫 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 暮らしと科学 情報メディア論 実社会課題解決プロジェクトA 実社会課題解決プロジェクトB 実社会課題解決プロジェクトC 実社会課題解決プロジェクトD 卒業研究
専	准教授	高橋 将宜 博士(理工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ ベイズ統計学 社会・観光情報学Ⅲ 卒業研究
専	准教授	原澤 隆一 博士(理学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 組合せから生じる数理学 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 情報基礎数学 情報数学Ⅲ 情報数学Ⅳ 情報セキュリティⅢ 卒業研究
専	准教授	藤村 誠 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 暮らしの中の情報科学 情報理論 画像処理 情報工学実験Ⅲ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松永 昭一 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー プログラミング演習Ⅰ 情報理論
専	教授	持田 恵一 博士(理学) (令和3年4月)
		初年次セミナー 医療・生命情報学Ⅰ 医療・生命情報学Ⅲ 卒業研究
専	准教授	一藤 裕 博士(情報科学) (令和2年4月)
		社会生活における情報活用術 社会・観光情報学Ⅰ 卒業研究
専	准教授	梅津 佑太 博士(機能数理学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 人工知能 人工知能演習 情報統計学 応用データ分析演習 卒業研究
専	准教授	神山 剛 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー ビッグデータ分析 ビッグデータ分析演習 データベース 卒業研究
専	准教授	酒井 智弥 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー オートマトンと言語理論 パターン認識と機械学習 パターン認識と機械学習演習 情報工学実験Ⅲ 卒業研究
専	准教授	瀬戸崎 典夫 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 暮らしと科学 情報メディア論 実社会課題解決プロジェクトA 実社会課題解決プロジェクトB 実社会課題解決プロジェクトC 実社会課題解決プロジェクトD 卒業研究
専	准教授	高橋 将宜 博士(理工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ ベイズ統計学 社会・観光情報学Ⅲ 卒業研究
専	准教授	原澤 隆一 博士(理学) (令和2年4月)
		組合せから生じる数理学 線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 情報基礎数学 情報数学Ⅲ 情報数学Ⅳ 情報セキュリティⅢ 卒業研究
専	准教授	藤村 誠 博士(工学) (令和2年4月)
		初年次セミナー 暮らしの中の情報科学 情報理論 画像処理 情報工学実験Ⅲ 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮島 洋文 博士(工学) <令和2年4月>	初年次セミナー 微分積分学Ⅲ グラフ理論と最適化 認知システム論A 認知システム論B 卒業研究
専	助教	荒井 研一 博士(工学) <令和2年4月>	情報科学技術 情報セキュリティⅠ 情報セキュリティⅡ
専	助教	北村 史 修士(人間科学) <令和2年4月>	芸術活動と社会 実社会課題解決プロジェクトA 実社会課題解決プロジェクトB 実社会課題解決プロジェクトC 実社会課題解決プロジェクトD
専	助教	蘭田 光太郎 博士(情報科学) <令和2年4月>	プログラミング概論 プログラミング演習Ⅱ 音響音声学 情報工学実験Ⅲ
専	助教	高田 寛之 博士(理学) <令和2年4月>	プログラミング言語論 プログラミング演習Ⅳ 情報工学実験Ⅰ
専	助教	眞鍋 泰斗 修士(工学) <令和3年4月>	プログラミング演習Ⅰ 組み込みシステム
専	助教	山口 尚哉 博士(数理学) <令和2年4月>	微分積分学Ⅰ 情報数学Ⅰ 情報数学Ⅱ
兼任	教授	赤石 孝次 経済学修士 <令和2年4月>	現代経済と企業活動d(社会制度と経済活動)
兼任	教授	天野 雅男 博士(理学) <令和2年4月>	生物から見た水産業
兼任	教授	鮎瀬 卓郎 歯学博士 <令和2年4月>	口腔から始まる健康

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮島 洋文 博士(工学) <令和2年4月>	初年次セミナー 微分積分学Ⅲ グラフ理論と最適化 認知システム論A 認知システム論B 卒業研究
専	准教授	荒井 研一 博士(工学) <令和2年4月>	初年次セミナー 情報数学Ⅰ 情報数学Ⅱ 情報科学技術 情報セキュリティⅠ 情報セキュリティⅡ 卒業研究
専	准教授	伊藤 宗平 博士(工学) <令和2年4月>	初年次セミナー 卒業研究
専	准教授	鈴木 郁美 博士(工学) <令和2年4月>	初年次セミナー 卒業研究
専	准教授	松本 拓高 博士(科学) <令和2年4月>	初年次セミナー 卒業研究
専	助教	北村 史 修士(人間科学) <令和2年4月>	情報基礎 芸術活動と社会 実社会課題解決プロジェクトA 実社会課題解決プロジェクトB 実社会課題解決プロジェクトC 実社会課題解決プロジェクトD
専	助教	蘭田 光太郎 博士(情報科学) <令和2年4月>	プログラミング概論 プログラミング演習Ⅱ 音響音声学 情報工学実験Ⅲ
専	助教	高田 寛之 博士(理学) <令和2年4月>	プログラミング言語論 プログラミング演習Ⅳ 情報工学実験Ⅰ
専	助教	眞鍋 泰斗 修士(工学) <令和3年4月>	プログラミング演習Ⅰ 組み込みシステム
兼任	教授	赤石 孝次 経済学修士 <令和2年4月>	現代経済と企業活動d(社会制度と経済活動)
兼任	教授	天野 雅男 博士(理学) <令和2年4月>	生物から見た水産業
兼任	教授	鮎瀬 卓郎 歯学博士 <令和2年4月>	口腔から始まる健康

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	荒川 修 農学博士 〈令和2年4月〉
		海洋環境と化学物質
兼任	教授	有賀 純 医学博士 〈令和2年4月〉
		脳の成り立ちと働き
兼任	教授	池田 浩 教育学士 〈令和2年4月〉
		社会と教育 教育社会・制度論 生徒・進路指導論
兼任	教授	池田 裕明 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		エピジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療
兼任	教授	石橋 郁人 農学博士 〈令和2年4月〉
		海洋環境と化学物質
兼任	教授	石松 隆和 工学博士 〈令和2年4月〉
		長崎地域学 キャリア交流
兼任	教授	石松 祐二 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		医療現場の安全と安心
兼任	教授	板山 朋聡 博士(工学) 〈令和2年4月〉
		水環境の安全と安心
兼任	教授	伊藤 敬 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		エピジェネティクス
兼任	教授	井上 徹志 博士(理学) 〈令和2年4月〉
		海洋生物の遺伝子多様性
兼任	教授	井口 茂 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		老いと健康 ボランティアを通して地域を知る
兼任	教授	今村 明 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	岩永 竜一郎 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	植木 弘信 工学博士 〈令和2年4月〉
		暮らしの中の物理

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	荒川 修 農学博士 〈令和2年4月〉
		海洋環境と化学物質
兼任	教授	有賀 純 医学博士 〈令和2年4月〉
		脳の成り立ちと働き
兼任	教授	池田 浩 教育学士 〈令和2年4月〉
		社会と教育 教育社会・制度論 生徒・進路指導論
兼任	教授	池田 裕明 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		エピジェネティクスと免疫制御、がん免疫治療
兼任	教授	石橋 郁人 農学博士 〈令和2年4月〉
		海洋環境と化学物質
兼任	教授	石松 隆和 工学博士 〈令和2年4月〉
		長崎地域学 キャリア交流
兼任	教授	石松 祐二 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		医療現場の安全と安心
兼任	教授	板山 朋聡 博士(工学) 〈令和2年4月〉
		水環境の安全と安心
兼任	教授	伊藤 敬 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		エピジェネティクス
兼任	教授	井上 徹志 博士(理学) 〈令和2年4月〉
		キャリア入門 海洋生物の遺伝子多様性
兼任	教授	井口 茂 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		老いと健康 ボランティアを通して地域を知る 自分のキャリアを考える講座～男女共同参画とダイバーシティの視点から～
兼任	教授	今村 明 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	岩永 竜一郎 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	植木 弘信 工学博士 〈令和2年4月〉
		暮らしの中の物理

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	江口 晋 博士(医学) <令和2年4月>
		からだの中の反逆者・がん細胞との闘い
兼任	教授	大石 和代 博士(医学) <令和2年4月>
		健康科学 育児リテラシー入門 自分のキャリアを考える講座~男女共同参画とダイバシティの視点から~
兼任	教授	大沢 一貴 博士(医学) <令和2年4月>
		健康と医療の安全・安心
兼任	教授	大橋 絵理 DEA (Lettres Modernes) (仏国) <令和2年4月>
		異文化比較: 日本と欧米文化 フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV 上級外国語 (フランス語)
兼任	教授	小笠原 真司 教育学修士 <令和2年4月>
		総合英語 II 総合英語 III 長崎における異文化交流 English for Specific Purposes (B)
兼任	教授	岡田 二郎 博士(理学) <令和2年4月>
		環境と生物応答
兼任	教授	岡田 裕正 経済学修士 <令和2年4月>
		企業行動と戦略
兼任	教授	長富 潔 薬学博士 <令和2年4月>
		海洋生物資源の生化学
兼任	教授	折口 智樹 医学博士 <令和2年4月>
		人の健康について
兼任	教授	梶本 ひろし 博士(理学) <令和2年4月>
		数と自然
兼任	教授	金高 賢悟 博士(医学) <令和2年4月>
		からだの中の反逆者・がん細胞との闘い
兼任	教授	亀田 和彦 水産学博士 <令和2年4月>
		人から見た水産業
兼任	教授	河邊 玲 博士(水産科学) <令和2年4月>
		生物から見た水産業
兼任	教授	河本 和明 博士(理学) <令和2年4月>
		地球温暖化を考える

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	江口 晋 博士(医学) <令和2年4月>
		からだの中の反逆者・がん細胞との闘い
兼任	教授	大石 和代 博士(医学) <令和2年4月>
		育児リテラシー入門
兼任	教授	大沢 一貴 博士(医学) <令和2年4月>
		健康と医療の安全・安心
兼任	教授	大橋 絵理 DEA (Lettres Modernes) (仏国) <令和2年4月>
		異文化比較: 日本と欧米文化 フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV 上級外国語 (フランス語)
兼任	教授	小笠原 真司 教育学修士 <令和2年4月>
		総合英語 II 総合英語 III 長崎における異文化交流 English for Specific Purposes (B)
兼任	教授	岡田 二郎 博士(理学) <令和2年4月>
		環境と生物応答
兼任	教授	岡田 裕正 経済学修士 <令和2年4月>
		企業行動と戦略
兼任	教授	長富 潔 薬学博士 <令和2年4月>
		海洋生物資源の生化学
兼任	教授	折口 智樹 医学博士 <令和2年4月>
		人の健康について
兼任	教授	梶本 ひろし 博士(理学) <令和2年4月>
		数と自然
兼任	教授	金高 賢悟 博士(医学) <令和2年4月>
		からだの中の反逆者・がん細胞との闘い
兼任	教授	亀田 和彦 水産学博士 <令和2年4月>
		人から見た水産業
兼任	教授	河邊 玲 博士(水産科学) <令和2年4月>
		生物から見た水産業
兼任	教授	河本 和明 博士(理学) <令和2年4月>
		地球温暖化を考える

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	菊池 太郎 学士(経済学) (令和2年4月)	Development Cooperation and Global Health
兼任	教授	菊池 英弘 法学士 (令和2年4月)	環境政策を考える
兼任	教授	小関 弘展 博士(医学) (令和2年4月)	医療現場の安全と安心
兼任	教授	齋藤 俊行 博士(歯学) (令和2年4月)	食の科学
兼任	教授	才本 明秀 博士(工学) (令和2年4月)	Sport Communication and Coaching in Touch Rugby
兼任	教授	坂口 大作 博士(工学) (令和2年4月)	暮らしの中の物理
兼任	教授	阪倉 良孝 博士(農学) (令和2年4月)	海洋の生物と科学
兼任	教授	SATUITO CYRIL GLENN PEREZ 学術博士 (令和2年4月)	海洋環境と保全
兼任	教授	澤井 照光 博士(医学) (令和2年4月)	人の健康について
兼任	教授	徐 陽 博士(法学) (令和2年4月)	現代経済と企業活動c(経営情報と会計情報)
兼任	教授	鈴木 章能 博士(英文学) (令和2年4月)	Nagasaki Studies I Nagasaki Studies II
兼任	教授	鈴木 慶子 教育学修士 (令和2年4月)	文字と社会
兼任	教授	鈴木 利一 博士(農学) (令和2年4月)	海洋環境と保全
兼任	教授	鈴木 保巳 博士(心身障害学) (令和2年4月)	特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	征矢野 清 博士(水産学) (令和2年4月)	海洋の生物と科学

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	菊池 太郎 学士(経済学) (令和2年4月)	Development Cooperation and Global Health
兼任	教授	菊池 英弘 法学士 (令和2年4月)	環境政策を考える
兼任	教授	小関 弘展 博士(医学) (令和2年4月)	医療現場の安全と安心
兼任	教授	齋藤 俊行 博士(歯学) (令和2年4月)	食の科学
兼任	教授	才本 明秀 博士(工学) (令和2年4月)	Sport Communication and Coaching in Touch Rugby
兼任	教授	坂口 大作 博士(工学) (令和2年4月)	暮らしの中の物理
兼任	教授	阪倉 良孝 博士(農学) (令和2年4月)	海洋の生物と科学
兼任	教授	SATUITO CYRIL GLENN PEREZ 学術博士 (令和2年4月)	海洋環境と保全
兼任	教授	澤井 照光 博士(医学) (令和2年4月)	人の健康について
兼任	教授	徐 陽 博士(法学) (令和2年4月)	現代経済と企業活動c(経営情報と会計情報)
兼任	教授	鈴木 章能 博士(英文学) (令和2年4月)	Nagasaki Studies I Nagasaki Studies II
兼任	教授	鈴木 慶子 教育学修士 (令和2年4月)	文字と社会
兼任	教授	鈴木 利一 博士(農学) (令和2年4月)	海洋環境と保全
兼任	教授	鈴木 保巳 博士(心身障害学) (令和2年4月)	特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	征矢野 清 博士(水産学) (令和2年4月)	海洋の生物と科学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田井村 明博 博士(医学) (令和2年4月)
		環境と生物応答
兼任	教授	高尾 雄二 博士(工学) (令和2年4月)
		地球温暖化を考える
兼任	教授	高谷 智裕 博士(水産学) (令和2年4月)
		海洋環境と化学物質
兼任	教授	武田 重信 博士(農学) (令和2年4月)
		海とは何か?~海洋生態系の現状と課題~
兼任	教授	多田 彰秀 博士(工学) (令和2年4月)
		水環境の安全と安心
兼任	教授	橘 勝康 保健学博士 (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	教授	田中 克己 博士(医学) (令和2年4月)
		形態を科学する
兼任	教授	田中 悟郎 博士(人間環境学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	田中 隆 薬学博士 (令和2年4月)
		平成長崎塾
兼任	教授	田邊 秀二 工学博士 (令和2年4月)
		水環境の安全と安心
兼任	教授	筑波 隆幸 博士(歯学) (令和2年4月)
		ストレスと健康
兼任	教授	辻野 彰 博士(医学) (令和2年4月)
		脳神経の病気
兼任	教授	弦本 敏行 医学博士 (令和2年4月)
		Visible Human Body
兼任	教授	戸田 清 博士(社会学) (令和2年4月)
		公害環境問題と社会 平和講座
兼任	教授	長江 真樹 博士(水産学) (令和2年4月)
		水環境を考える

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田井村 明博 博士(医学) (令和2年4月)
		環境と生物応答
兼任	教授	高尾 雄二 博士(工学) (令和2年4月)
		地球温暖化を考える
兼任	教授	高谷 智裕 博士(水産学) (令和2年4月)
		海洋環境と化学物質
兼任	教授	武田 重信 博士(農学) (令和2年4月)
		海とは何か?~海洋生態系の現状と課題~
兼任	教授	多田 彰秀 博士(工学) (令和2年4月)
		水環境の安全と安心
兼任	教授	橘 勝康 保健学博士 (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	教授	田中 克己 博士(医学) (令和2年4月)
		形態を科学する
兼任	教授	田中 悟郎 博士(人間環境学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	教授	田中 隆 薬学博士 (令和2年4月)
		平成長崎塾
兼任	教授	田邊 秀二 工学博士 (令和2年4月)
		水環境の安全と安心
兼任	教授	筑波 隆幸 博士(歯学) (令和2年4月)
		ストレスと健康
兼任	教授	辻野 彰 博士(医学) (令和2年4月)
		脳神経の病気
兼任	教授	弦本 敏行 医学博士 (令和2年4月)
		Visible Human Body
兼任	教授	戸田 清 博士(社会学) (令和2年4月)
		公害環境問題と社会 平和講座
兼任	教授	長江 真樹 博士(水産学) (令和2年4月)
		水環境を考える

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中川 啓 博士(工学) <令和2年4月>
		廃棄物と土壌・地下水汚染
兼任	教授	中川 幸久 教育学士 <令和2年4月>
		教育社会・制度論
兼任	教授	永田 聖二 経済学修士 <令和2年4月>
		人間と社会
兼任	教授	永田 康浩 博士(医学) <令和2年4月>
		地域文化と保健医療
兼任	教授	中原 浩之 博士(工学) <令和2年4月>
		近年の災害リスクと技術 構造物の世界
兼任	教授	中村 典生 修士(教育学) <令和2年4月>
		ことばの世界
兼任	教授	仲山 英樹 博士(バイオサイエンス) <令和2年4月>
		水環境を考える
兼任	教授	西久保 裕彦 法学士 <令和2年4月>
		環境政策を考える
兼任	教授	西山 雅也 博士(農学) <令和2年4月>
		廃棄物と土壌・地下水汚染
兼任	教授	丹羽 量久 博士(工学) <令和2年4月>
		情報基礎 社会生活における情報活用術
兼任	教授	根本 孝幸 理学博士 <令和2年4月>
		ヒトの生物学
兼任	教授	萩原 篤志 農学博士 <令和2年4月>
		海洋の生物と科学
兼任	教授	長谷川 実也 Master of Science <令和2年4月>
		国際社会と日本経済
兼任	教授	畠山 智充 農学博士 <令和2年4月>
		生体分子の構造と機能
兼任	教授	花田 裕子 博士(医学) <令和2年4月>
		社会における精神健康

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中川 啓 博士(工学) <令和2年4月>
		廃棄物と土壌・地下水汚染
兼任	教授	中川 幸久 教育学士 <令和2年4月>
		教育社会・制度論
兼任	教授	永田 聖二 経済学修士 <令和2年4月>
		人間と社会
兼任	教授	永田 康浩 博士(医学) <令和2年4月>
		地域文化と保健医療
兼任	教授	中原 浩之 博士(工学) <令和2年4月>
		近年の災害リスクと技術 構造物の世界
兼任	教授	中村 典生 修士(教育学) <令和2年4月>
		ことばの世界
兼任	教授	仲山 英樹 博士(バイオサイエンス) <令和2年4月>
		水環境を考える
兼任	教授	西久保 裕彦 法学士 <令和2年4月>
		環境政策を考える
兼任	教授	西山 雅也 博士(農学) <令和2年4月>
		廃棄物と土壌・地下水汚染
兼任	教授	丹羽 量久 博士(工学) <令和2年4月>
		社会生活における情報活用術 経験学習実践論
兼任	教授	根本 孝幸 理学博士 <令和2年4月>
		ヒトの生物学
兼任	教授	萩原 篤志 農学博士 <令和2年4月>
		海洋の生物と科学
兼任	教授	長谷川 実也 Master of Science <令和2年4月>
		国際社会と日本経済
兼任	教授	畠山 智充 農学博士 <令和2年4月>
		生体分子の構造と機能
兼任	教授	花田 裕子 博士(医学) <令和2年4月>
		社会における精神健康

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	林 徹 経営学修士 (令和2年4月)	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス
		林 秀千人 工学博士 (令和2年4月)	科学と技術の安全・安心 身近な世界の物理科学
兼担	教授	原田 哲夫 工学博士 (令和2年4月)	構造物の世界
		針貝 綾 博士(芸術学) (令和2年4月)	美術
兼担	教授	東 登志夫 博士(学術) (令和2年4月)	障害体験と支援
		東嶋 美佐子 博士(医学) (令和2年4月)	共生へのチャレンジ
兼担	教授	平野 裕子 博士(保健学) (令和2年4月)	大学生のための健康社会学 Globalization and Health in Nagasaki/Japan
		廣江 顕 修士(文学) (令和2年4月)	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅲ 異文化理解の実際 海外English Camp(A) 海外English Camp(B)
兼担	教授	藤田 涉 工学修士 (令和2年4月)	社会科学からみた安全・安心
		藤本 登 博士(工学) (令和2年4月)	身のまわりの科学
兼担	教授	古村 由美子 博士(比較社会文化学) (令和2年4月)	英語コミュニケーションⅢ 総合英語Ⅱ 長崎における異文化交流
		星野 由雅 理学博士 (令和2年4月)	環境と社会
兼担	教授	堀内 伊吹 音楽学士 (令和2年4月)	芸術と文化
		前田 隆浩 博士(医学) (令和2年4月)	地域文化と保健医療

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	林 徹 経営学修士 (令和2年4月)	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス
		林 秀千人 工学博士 (令和2年4月)	科学と技術の安全・安心 身近な世界の物理科学
兼担	教授	原田 哲夫 工学博士 (令和2年4月)	構造物の世界
		針貝 綾 博士(芸術学) (令和2年4月)	美術
兼担	教授	東 登志夫 博士(学術) (令和2年4月)	障害体験と支援
		東嶋 美佐子 博士(医学) (令和2年4月)	共生へのチャレンジ
兼担	教授	平野 裕子 博士(保健学) (令和2年4月)	大学生のための健康社会学 Globalization and Health in Nagasaki/Japan
		廣江 顕 修士(文学) (令和2年4月)	総合英語Ⅲ 異文化理解の実際 海外English Camp(A) 海外English Camp(B)
兼担	教授	藤田 涉 工学修士 (令和2年4月)	社会科学からみた安全・安心
		藤本 登 博士(工学) (令和2年4月)	身のまわりの科学
兼担	教授	古村 由美子 博士(比較社会文化学) (令和2年4月)	総合英語Ⅰ 英語コミュニケーションⅢ 総合英語Ⅱ 長崎における異文化交流
		星野 由雅 理学博士 (令和2年4月)	環境と社会
兼担	教授	堀内 伊吹 音楽学士 (令和2年4月)	芸術と文化
		前田 隆浩 博士(医学) (令和2年4月)	地域文化と保健医療

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	前田(米澤) 桂子 博士(文学) (令和2年4月)
		日本語と社会
兼担	教授	益谷 美都子 博士(薬学) (令和2年4月)
		発がん・がん治療とエピジェネティクス
兼担	教授	松下 吉樹 水産学博士 (令和2年4月)
		生物から見た水産業
兼担	教授	松田 尚樹 博士(薬学) (令和2年4月)
		健康と医療の安全・安心
兼担	教授	松元 浩一 博士(比較社会文化) (令和2年4月)
		ことばの世界
兼担	教授	真鍋 義孝 歯学博士 (令和2年4月)
		歯の進化と人類学
兼担	教授	三上 次郎 芸術学修士 (令和2年4月)
		芸術の世界
兼担	教授	宮下 茂 修士(芸術) (令和2年4月)
		音楽
兼担	教授	村田 比呂司 歯学博士 (令和2年4月)
		口腔から始まる健康
兼担	教授	桃木 悟 博士(工学) (令和2年4月)
		工学から見た安全安心(エネルギーと資源)
兼担	教授	森保 洋 博士(経済学) (令和2年4月)
		経済と生活の安全・安心
兼担	教授	安武(浜崎) 敦子 博士(工学) (令和2年4月)
		近年の災害リスクと技術
兼担	教授	山下 樹三裕 薬学博士 (令和2年4月)
		環境と生物応答
兼担	教授	山下 敬彦 工学博士 (令和2年4月)
		環境関連法とアセスメント
兼担	教授	山本 尚俊 博士(学術) (令和2年4月)
		人から見た水産業

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	前田(米澤) 桂子 博士(文学) (令和2年4月)
		日本語と社会
兼担	教授	益谷 美都子 博士(薬学) (令和2年4月)
		発がん・がん治療とエピジェネティクス
兼担	教授	松下 吉樹 水産学博士 (令和2年4月)
		生物から見た水産業
兼担	教授	松田 尚樹 博士(薬学) (令和2年4月)
		健康と医療の安全・安心
兼担	教授	松元 浩一 博士(比較社会文化) (令和2年4月)
		ことばの世界
兼担	教授	真鍋 義孝 歯学博士 (令和2年4月)
		歯の進化と人類学
兼担	教授	三上 次郎 芸術学修士 (令和2年4月)
		芸術の世界
兼担	教授	宮下 茂 修士(芸術) (令和2年4月)
		音楽
兼担	教授	村田 比呂司 歯学博士 (令和2年4月)
		口腔から始まる健康
兼担	教授	桃木 悟 博士(工学) (令和2年4月)
		工学から見た安全安心(エネルギーと資源)
兼担	教授	森保 洋 博士(経済学) (令和2年4月)
		経済と生活の安全・安心
兼担	教授	安武(浜崎) 敦子 博士(工学) (令和2年4月)
		近年の災害リスクと技術
兼担	教授	山下 樹三裕 薬学博士 (令和2年4月)
		環境と生物応答
兼担	教授	山下 敬彦 工学博士 (令和2年4月)
		環境関連法とアセスメント
兼担	教授	山本 尚俊 博士(学術) (令和2年4月)
		人から見た水産業

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	劉 卿美 博士(人文科学) (令和2年4月)	韓国語 I 韓国語 II 韓国語 III 韓国語 IV 上級外国語(韓国語)
兼担	教授	楊 曉安 文学博士(中国) (令和2年4月)	中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV 上級外国語(中国語)
兼担	教授	吉田 ゆり 博士(現代社会学) (令和2年4月)	自分のキャリアを考える講座～男女共同参画とダイバーシティの視点から～ 特別な支援を必要とする子どもの理解
兼担	教授	吉武 裕 工学博士 (令和2年4月)	近年の災害リスクと技術構造物の世界
兼担	教授	吉村 篤利 博士(歯学) (令和2年4月)	健康科学 口と疾患
兼担	教授	吉村 宰 博士(学術) (令和2年4月)	データの科学
兼担	教授	若菜 啓孝 博士(工学) (令和2年4月)	現代社会を生きる 教育方法・技術論
兼担	教授	和田 実 博士(農学) (令和2年4月)	海とは何か?～海洋生態系の現状と課題～ 海洋生物の遺伝子多様性
兼担	准教授	朝倉 宏 博士(工学) (令和2年4月)	廃棄物と土壌・地下水汚染
兼担	准教授	東 史彦 博士(法学) (令和2年4月)	世界の中のヨーロッパ

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	劉 卿美 博士(人文科学) (令和2年4月)	韓国語 I 韓国語 II 韓国語 III 韓国語 IV 上級外国語(韓国語)
兼担	教授	楊 曉安 文学博士(中国) (令和2年4月)	中国語 II 中国語 III 中国語 IV 上級外国語(中国語)
兼担	教授	吉田 ゆり 博士(現代社会学) (令和2年4月)	自分のキャリアを考える講座～男女共同参画とダイバーシティの視点から～ 特別な支援を必要とする子どもの理解
兼担	教授	吉武 裕 工学博士 (令和2年4月)	近年の災害リスクと技術構造物の世界
兼担	教授	吉村 篤利 博士(歯学) (令和2年4月)	口と疾患
兼担	教授	吉村 宰 博士(学術) (令和2年4月)	データの科学
兼担	教授	若菜 啓孝 博士(工学) (令和2年4月)	現代社会を生きる 教育方法・技術論
兼担	教授	和田 実 博士(農学) (令和2年4月)	海とは何か?～海洋生態系の現状と課題～ 海洋生物の遺伝子多様性
兼担	教授	上條 由紀子 修士(工学) (令和2年4月)	キャリア入門 アントレプレナーシップ入門 アイデア創出・デザイン思考入門
兼担	教授	山下 淳司 博士(経営学) (令和2年4月)	キャリア入門 アイデア創出・デザイン思考入門
兼担	教授	北浦 剛資 学士(理学部) (令和2年4月)	生徒・進路指導論
兼担	准教授	朝倉 宏 博士(工学) (令和2年4月)	廃棄物と土壌・地下水汚染
兼担	准教授	東 史彦 博士(法学) (令和2年4月)	世界の中のヨーロッパ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	飯間 雅文 理学博士 (令和2年4月)
		藻類の多様性
兼任	准教授	池谷 和子 博士(法学) (令和2年4月)
		日本国憲法
兼任	准教授	石川 衣紀 博士(教育学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	准教授	市川 寿 水産学博士 (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	准教授	井手 弘人 修士(教育学) (令和2年4月)
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
兼任	准教授	上繁 義史 博士(工学) (令和2年4月)
		情報基礎 社会生活における情報活用術
兼任	准教授	内野 成美 修士(教育学) (令和2年4月)
		心と社会
兼任	准教授	大平 晃久 博士(人間・環境学) (令和2年4月)
		日本語と社会
兼任	准教授	岡本 圭史 医学博士 (令和2年4月)
		Visible Human Body
兼任	准教授	門脇(筑波)知子 博士(歯学) (令和2年4月)
		ストレスと健康
兼任	准教授	加納 暁子 博士(学校教育学) (令和2年4月)
		芸術
兼任	准教授	鎌田 英一郎 博士(農学) (令和2年4月)
		身のまわりの科学
兼任	准教授	神園 健次 Doctor of Philosophy in Mathematics (令和2年4月)
		現代経済と企業活動c(社会制度と経済活動)
兼任	准教授	河合 孝尚 博士(情報学) (令和2年4月)
		研究倫理とコンプライアンス
兼任	准教授	川崎 五郎 博士(歯学) (令和2年4月)
		先端医療・再生医療

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	飯間 雅文 理学博士 (令和2年4月)
		藻類の多様性
兼任	准教授	池谷 和子 博士(法学) (令和2年4月)
		日本国憲法
兼任	准教授	石川 衣紀 博士(教育学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	准教授	市川 寿 水産学博士 (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	准教授	井手 弘人 修士(教育学) (令和2年4月)
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
兼任	准教授	上繁 義史 博士(工学) (令和2年4月)
		社会生活における情報活用術
兼任	准教授	内野 成美 修士(教育学) (令和2年4月)
		心と社会
兼任	准教授	大平 晃久 博士(人間・環境学) (令和2年4月)
		日本語と社会
兼任	准教授	岡本 圭史 医学博士 (令和2年4月)
		Visible Human Body
兼任	准教授	門脇(筑波)知子 博士(歯学) (令和2年4月)
		ストレスと健康
兼任	准教授	加納 暁子 博士(学校教育学) (令和2年4月)
		芸術
兼任	准教授	鎌田 英一郎 博士(農学) (令和2年4月)
		身のまわりの科学
兼任	准教授	神園 健次 Doctor of Philosophy in Mathematics (令和2年4月)
		現代経済と企業活動c(社会制度と経済活動)
兼任	准教授	河合 孝尚 博士(情報学) (令和2年4月)
		研究倫理とコンプライアンス
兼任	准教授	川崎 五郎 博士(歯学) (令和2年4月)
		先端医療・再生医療

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	河端 雄毅 博士(情報学) 〈令和2年4月〉
		生物から見た水産業
兼任	准教授	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN 博士(人間科学) 〈令和2年4月〉
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	准教授	工藤 哲洋 博士(理学) 〈令和2年4月〉
		自然の科学
兼任	准教授	倉田 伸 博士(理学) 〈令和2年4月〉
		ことばの世界
兼任	准教授	源城 かほり 博士(工学) 〈令和2年4月〉
		近年の災害リスクと技術
兼任	准教授	古林 正和 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		健康科学
兼任	准教授	小松 悟 博士(学術) 〈令和2年4月〉
		開発協力論
兼任	准教授	小山 敦弘 博士(工学) 〈令和2年4月〉
		身近な世界の物理科学
兼任	准教授	COLLINS WILLIAM SHERWOOD Master of Science 〈令和2年4月〉
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	近藤 能子 博士(農学) 〈令和2年4月〉
		環境関連法とアセスメント
兼任	准教授	COMPEL RADOMIR 博士(国際経済法学) 〈令和2年4月〉
		Asia and Japan in Modern and Contemporary History
兼任	准教授	賽漢卓娜 博士(教育学) 〈令和2年4月〉
		アジアにおける人の移動と日本
兼任	准教授	清水 健一 博士(水産学) 〈令和2年4月〉
		人から見た水産業 全学乗船実習
兼任	准教授	菅 向志郎 博士(農学) 〈令和2年4月〉
		海の生物と多様性 海洋生物の遺伝子多様性
兼任	准教授	住田 吉慶 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		先端医療・再生医療

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	河端 雄毅 博士(情報学) 〈令和2年4月〉
		生物から見た水産業
兼任	准教授	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN 博士(人間科学) 〈令和2年4月〉
		ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ
兼任	准教授	工藤 哲洋 博士(理学) 〈令和2年4月〉
		自然の科学
兼任	准教授	倉田 伸 博士(理学) 〈令和2年4月〉
		ことばの世界
兼任	准教授	源城 かほり 博士(工学) 〈令和2年4月〉
		近年の災害リスクと技術
兼任	准教授	古林 正和 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		健康科学
兼任	准教授	
兼任	准教授	小山 敦弘 博士(工学) 〈令和2年4月〉
		身近な世界の物理科学
兼任	准教授	COLLINS WILLIAM SHERWOOD Master of Science 〈令和2年4月〉
		英語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	近藤 能子 博士(農学) 〈令和2年4月〉
		環境関連法とアセスメント
兼任	准教授	COMPEL RADOMIR 博士(国際経済法学) 〈令和2年4月〉
		Asia and Japan in Modern and Contemporary History
兼任	准教授	賽漢卓娜 博士(教育学) 〈令和2年4月〉
		アジアにおける人の移動と日本
兼任	准教授	清水 健一 博士(水産学) 〈令和2年4月〉
		人から見た水産業 全学乗船実習
兼任	准教授	菅 向志郎 博士(農学) 〈令和2年4月〉
		海の生物と多様性 海洋生物の遺伝子多様性
兼任	准教授	住田 吉慶 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		先端医療・再生医療

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	平 曜輔 博士(歯学) (令和2年4月)
		審美
兼任	准教授	高槻 光寿 博士(医学) (令和2年4月)
		からだの中の反逆者・がん細胞との闘い
兼任	准教授	高橋 甲介 博士(障害科学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	准教授	滝川 哲太郎 博士(理学) (令和2年4月)
		海とは何か?~海洋生態系の現状と課題~
兼任	准教授	田口 由香 博士(学術) (令和2年4月)
		文化と社会
兼任	准教授	竹垣 毅 博士(農学) (令和2年4月)
		海の生物と多様性
兼任	准教授	竹下 哲史 博士(学術) (令和2年4月)
		環境関連法とアセスメント
兼任	准教授	田中 修司 理学博士 (令和2年4月)
		生体分子の構造と機能
兼任	准教授	田中 俊幸 工学博士 (令和2年4月)
		科学と技術の安全・安心
兼任	准教授	谷山 茂人 博士(水産学) (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	准教授	田上 直美 博士(歯学) (令和2年4月)
		ライフステージに合わせた口腔健康管理
兼任	准教授	張 笑男 博士(法学) (令和2年4月)
		企業の仕組みと行動
兼任	准教授	土肥 大次郎 修士(教育学) (令和2年4月)
		環境と社会
兼任	准教授	冨塚 明 博士(環境科学) (令和2年4月)
		地球温暖化を考える 平和講座 平成長崎塾
兼任	准教授	友永 光幸 修士(教育学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	平 曜輔 博士(歯学) (令和2年4月)
		審美
兼任	准教授	高槻 光寿 博士(医学) (令和2年4月)
		からだの中の反逆者・がん細胞との闘い
兼任	准教授	高橋 甲介 博士(障害科学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	准教授	滝川 哲太郎 博士(理学) (令和2年4月)
		海とは何か?~海洋生態系の現状と課題~
兼任	准教授	田口 由香 博士(学術) (令和2年4月)
		文化と社会
兼任	准教授	竹垣 毅 博士(農学) (令和2年4月)
		海の生物と多様性
兼任	准教授	竹下 哲史 博士(学術) (令和2年4月)
		環境関連法とアセスメント
兼任	准教授	田中 修司 理学博士 (令和2年4月)
		生体分子の構造と機能
兼任	准教授	田中 俊幸 工学博士 (令和2年4月)
		科学と技術の安全・安心
兼任	准教授	谷山 茂人 博士(水産学) (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	准教授	田上 直美 博士(歯学) (令和2年4月)
		ライフステージに合わせた口腔健康管理
兼任	准教授	張 笑男 博士(法学) (令和2年4月)
		企業の仕組みと行動
兼任	准教授	土肥 大次郎 修士(教育学) (令和2年4月)
		環境と社会
兼任	准教授	冨塚 明 博士(環境科学) (令和2年4月)
		地球温暖化を考える 平和講座 平成長崎塾
兼任	准教授	友永 光幸 修士(教育学) (令和2年4月)
		特別な支援を必要とする子どもの理解

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	内藤 真理子 博士(歯学) (令和2年4月)
		ストレスと健康
兼任	准教授	中尾 理恵子 博士(医学) (令和2年4月)
		障害体験と支援
兼任	准教授	中島 ゆり Ph.D(Educational Culture, Policy and Society) (米国) (令和2年4月)
		キャリア入門 教育社会・制度論 自分のキャリアを考える講座~男女 共同参画とダイバーシティの視点から~
兼任	准教授	中島(保坂) 貴奈 修士(文学) (令和2年4月)
		文化と社会
兼任	准教授	中野 治郎 博士(医学) (令和2年4月)
		青年期の健康・体力増進
兼任	准教授	永橋 美幸 博士(医学) (令和2年4月)
		育児リテラシー入門 ボランティアを通して地域を知る
兼任	准教授	中村 千秋 工学修士 (令和2年4月)
		暮らしと科学
兼任	准教授	中村(山口) 桂子 M.A(国際政策学) (米国) (令和2年4月)
		Toward a Nuclear Weapon Free- World
兼任	准教授	西田 治 修士(音楽) (令和2年4月)
		音楽と社会
兼任	准教授	NISHIHARA GREGORY NAOKI 博士(水産学) (令和2年4月)
		Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment
兼任	准教授	濱田(原野) 友貴 博士(水産学) (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	准教授	林川 万理水 博士(経営学) (令和2年4月)
		現代経済と企業活動d(経営情報と 会計情報)
兼任	准教授	兵頭 健生 博士(工学) (令和2年4月)
		身の回りの物質
兼任	准教授	平坂 勝也 博士(栄養学) (令和2年4月)
		海洋生物資源の生化学

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	内藤 真理子 博士(歯学) (令和2年4月)
		ストレスと健康
兼任	准教授	中尾 理恵子 博士(医学) (令和2年4月)
		障害体験と支援
兼任	准教授	中島 ゆり Ph.D(Educational Culture, Policy and Society) (米国) (令和2年4月)
		キャリア入門 教育社会・制度論
兼任	准教授	中島(保坂) 貴奈 修士(文学) (令和2年4月)
		文化と社会
兼任	准教授	中野 治郎 博士(医学) (令和2年4月)
		青年期の健康・体力増進
兼任	准教授	永橋 美幸 博士(医学) (令和2年4月)
		健康科学 育児リテラシー入門 ボランティアを通して地域を知る
兼任	准教授	中村 千秋 工学修士 (令和2年4月)
		暮らしと科学
兼任	准教授	中村(山口) 桂子 M.A(国際政策学) (米国) (令和2年4月)
		Toward aNuclear Weapon Free- World
兼任	准教授	西田 治 修士(音楽) (令和2年4月)
		音楽と社会
兼任	准教授	NISHIHARA GREGORY NAOKI 博士(水産学) (令和2年4月)
		Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment
兼任	准教授	濱田(原野) 友貴 博士(水産学) (令和2年4月)
		海洋食料資源の応用
兼任	准教授	林川 万理水 博士(経営学) (令和2年4月)
		現代経済と企業活動d(経営情報と 会計情報)
兼任	准教授	兵頭 健生 博士(工学) (令和2年4月)
		身の回りの物質
兼任	准教授	平坂 勝也 博士(栄養学) (令和2年4月)
		海洋生物資源の生化学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤井 佑介 修士(教育学) 〈令和2年4月〉
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
兼任	准教授	藤岡 貴浩 Ph. D. Environmental Engineering (豪州) 〈令和2年4月〉
		水環境の安全と安心
兼任	准教授	淵上 剛志 博士(薬学) 〈令和2年4月〉
		健康と医療の安全・安心
兼任	准教授	古本 裕美 博士(教育学) 〈令和2年4月〉
		日本語上級Ⅱa
兼任	准教授	細田(垂水)尚美 博士(地域研究) 〈令和2年4月〉
		アジアの多文化社会から日本の将来を考える 文化人類学でみる世界と日本
兼任	准教授	佛坂 斉社 博士(歯学) 〈令和2年4月〉
		ライフステージに合わせた口腔健康管理
兼任	准教授	前原 由喜夫 博士(教育学) 〈令和2年4月〉
		教育心理学
兼任	准教授	真木 俊英 博士(薬学) 〈令和2年4月〉
		有害化学物質の管理と処理
兼任	准教授	松浦 江美 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		仕事と健康
兼任	准教授	松田 良信 工学博士 〈令和2年4月〉
		物理科学
兼任	准教授	松本 久美子 修士(日本語教育) 〈令和2年4月〉
		日本語上級Ⅰ 日本語上級Ⅱb
兼任	准教授	松本 健一 博士(総合政策) 〈令和2年4月〉
		環境政策を考える
兼任	准教授	南森 茂太 博士(経済学) 〈令和2年4月〉
		経済活動と社会
兼任	准教授	見原(吉野)礼子 博士(社会学) 〈令和2年4月〉
		多文化社会における子どもと教育
兼任	准教授	宮崎 敏博 博士(歯学) 〈令和2年4月〉
		食の科学

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤井 佑介 修士(教育学) 〈令和2年4月〉
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
兼任	准教授	藤岡 貴浩 Ph. D. Environmental Engineering (豪州) 〈令和2年4月〉
		水環境の安全と安心
兼任	准教授	淵上 剛志 博士(薬学) 〈令和2年4月〉
		健康と医療の安全・安心
兼任	准教授	古本 裕美 博士(教育学) 〈令和2年4月〉
		日本語上級Ⅱa
兼任	准教授	細田(垂水)尚美 博士(地域研究) 〈令和2年4月〉
		アジアの多文化社会から日本の将来を考える 文化人類学でみる世界と日本
兼任	准教授	佛坂 斉社 博士(歯学) 〈令和2年4月〉
		ライフステージに合わせた口腔健康管理
兼任	准教授	前原 由喜夫 博士(教育学) 〈令和2年4月〉
		教育心理学
兼任	准教授	真木 俊英 博士(薬学) 〈令和2年4月〉
		有害化学物質の管理と処理
兼任	准教授	松浦 江美 博士(医学) 〈令和2年4月〉
		仕事と健康
兼任	准教授	松田 良信 工学博士 〈令和2年4月〉
		物理科学
兼任	准教授	松本 久美子 修士(日本語教育) 〈令和2年4月〉
		日本語上級Ⅰ 日本語上級Ⅱb
兼任	准教授	松本 健一 博士(総合政策) 〈令和2年4月〉
		環境政策を考える
兼任	准教授	南森 茂太 博士(経済学) 〈令和2年4月〉
		経済活動と社会
兼任	准教授	見原(吉野)礼子 博士(社会学) 〈令和2年4月〉
		多文化社会における子どもと教育
兼任	准教授	宮崎 敏博 博士(歯学) 〈令和2年4月〉
		食の科学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	村上 裕人 博士(工学) (令和2年4月)	暮らしの中の化学
兼担	准教授	村田 潤 博士(保健学) (令和2年4月)	共生へのチャレンジ
兼担	准教授	森 元齋 博士(人間科学) (令和2年4月)	九州の民衆史から世界の民衆史へ～ 国道3号線を手がかりに～
兼担	准教授	柳下 直己 博士(農学) (令和2年4月)	海の生物と多様性
兼担	准教授	柳井 武志 博士(工学) (令和2年4月)	電気の物理とその応用
兼担	准教授	矢野 香 博士(総合社会文化学) (令和2年4月)	キャリア入門 社会とマスメディア ボランティアを通して地域を知る 自己表現法 キャリア実践 キャリア交流
兼担	准教授	山口 健一 博士(農学) (令和2年4月)	海洋生物の遺伝子多様性
兼担	准教授	山口 純哉 修士(経済学) (令和2年4月)	経済政策と公共部門
兼担	准教授	山口 朝彦 博士(工学) (令和2年4月)	工学から見た安全安心(エネルギーと資源)
兼担	准教授	山田 志津香 博士(歯学) (令和2年4月)	口腔から始まる健康
兼担	准教授	山本 一男 博士(理学) (令和2年4月)	発がん・がん治療とエピジェネティクス
兼担	准教授	吉田(藤田)朝美 博士(学術) (令和2年4月)	海洋生物資源の生化学
兼担	准教授	和達 容子 博士(法学) (令和2年4月)	地球温暖化を考える

【令和2年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	村上 裕人 博士(工学) (令和2年4月)	暮らしの中の化学
兼担	准教授	村田 潤 博士(保健学) (令和2年4月)	共生へのチャレンジ
兼担	准教授	森 元齋 博士(人間科学) (令和2年4月)	九州の民衆史から世界の民衆史へ～ 国道3号線を手がかりに～ 哲学
兼担	准教授	柳下 直己 博士(農学) (令和2年4月)	海の生物と多様性
兼担	准教授	柳井 武志 博士(工学) (令和2年4月)	電気の物理とその応用
兼担	准教授	矢野 香 博士(総合社会文化学) (令和2年4月)	キャリア入門 社会とマスメディア ボランティアを通して地域を知る 自己表現法 キャリア実践 キャリア交流
兼担	准教授	山口 健一 博士(農学) (令和2年4月)	海洋生物の遺伝子多様性
兼担	准教授	山口 純哉 修士(経済学) (令和2年4月)	経済政策と公共部門
兼担	准教授	山口 朝彦 博士(工学) (令和2年4月)	工学から見た安全安心(エネルギーと資源)
兼担	准教授	山田 志津香 博士(歯学) (令和2年4月)	口腔から始まる健康
兼担	准教授	山本 一男 博士(理学) (令和2年4月)	発がん・がん治療とエピジェネティクス
兼担	准教授	吉田(藤田)朝美 博士(学術) (令和2年4月)	海洋生物資源の生化学
兼担	准教授	和達 容子 博士(法学) (令和2年4月)	地球温暖化を考える
兼担	准教授	木下 裕久 博士(医学) (令和2年4月)	健康科学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	上野 美穂 学士(看護学) 〈令和2年4月〉	育児リテラシー入門
兼任	講師	尾立 哲郎 博士(歯学) 〈令和2年4月〉	審美
兼任	講師	釜崎 陽子 博士(歯学) 〈令和2年4月〉	ライフステージに合わせた口腔健康管理
兼任	講師	佐伯 和信 博士(医学) 〈令和2年4月〉	Visible Human Body
兼任	講師	白石 裕一 博士(医学) 〈令和2年4月〉	脳神経の病気
兼任	講師	長井 一浩 博士(医学) 〈令和2年4月〉	医療現場の安全と安心
兼任	講師	中川 慎介 博士(医学) 〈令和2年4月〉	脳の成り立ちと働き
兼任	講師	増本 博司 博士(医学) 〈令和2年4月〉	発がん・がん治療とエピジェネティクス
兼任	講師	矢内 希梨子 修士(学術・文学) 〈令和2年4月〉	健康科学 教育と文化(教育相談) 教育と社会(教育相談)
兼任	講師	柳口 嘉治郎 博士(歯学) 〈令和2年4月〉	口と疾患
兼任	講師	山梨 啓友 博士(医学) 〈令和2年4月〉	地域文化と保健医療
兼任	講師	米田 光宏 博士(医学) 〈令和2年4月〉	エピジェネティクス
兼任	助教	今村 禎伸 学士(医学) 〈令和2年4月〉	形態を科学する

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	吉良 史明 博士(文学) 〈令和2年4月〉	今と昔の長崎に遊ぶ
兼任	講師	上野 美穂 学士(看護学) 〈令和2年4月〉	育児リテラシー入門
兼任	講師	尾立 哲郎 博士(歯学) 〈令和2年4月〉	審美
兼任	講師	釜崎 陽子 博士(歯学) 〈令和2年4月〉	ライフステージに合わせた口腔健康管理
兼任	講師	佐伯 和信 博士(医学) 〈令和2年4月〉	Visible Human Body
兼任	講師	白石 裕一 博士(医学) 〈令和2年4月〉	脳神経の病気
兼任	講師	長井 一浩 博士(医学) 〈令和2年4月〉	医療現場の安全と安心
兼任	講師	中川 慎介 博士(医学) 〈令和2年4月〉	脳の成り立ちと働き
兼任	講師	増本 博司 博士(医学) 〈令和2年4月〉	発がん・がん治療とエピジェネティクス
兼任	講師	矢内 希梨子 修士(学術・文学) 〈令和2年4月〉	教育と文化(教育相談) 教育と社会(教育相談)
兼任	講師	柳口 嘉治郎 博士(歯学) 〈令和2年4月〉	口と疾患
兼任	講師	山梨 啓友 博士(医学) 〈令和2年4月〉	地域文化と保健医療
兼任	講師	米田 光宏 博士(医学) 〈令和2年4月〉	エピジェネティクス
兼任	助教	今村 禎伸 学士(医学) 〈令和2年4月〉	形態を科学する
兼任	講師	鈴木 斉 修士(工学) 〈令和2年4月〉	経験学習実践論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	右藤 友督 博士(歯学) (令和2年4月)
		審美
兼任	助教	江越 貴文 博士(歯学) (令和2年4月)
		審美
兼任	助教	小川 さやか 博士(医学) (令和2年4月)
		健康科学 教育と文化(教育相談) 教育と社会(教育相談)
兼任	助教	奥田 阿子 修士(言語文化学) (令和2年4月)
		英語コミュニケーションⅢ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅲ 異文化比較:日本と欧米文化 English for Specific Purposes (A)
兼任	助教	利部 慎 博士(理学) (令和2年4月)
		廃棄物と土壌・地下水汚染
兼任	助教	川北 晃子 博士(歯学) (令和2年4月)
		先端医療・再生医療
兼任	助教	河野 哲也 博士(医学) (令和2年4月)
		健康科学
兼任	助教	久保 孝 博士(工学) (令和2年4月)
		科学と技術の安全・安心 環境関連法とアセスメント 有害化学物質の管理と処理
兼任	助教	限上(鈴村)麻衣 修士(文学) (令和2年4月)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解の実際
兼任	助教	黒木 唯文 博士(歯学) (令和2年4月)
		口と疾患
兼任	助教	伍 嘉誠 博士(文学) (令和2年4月)
		宗教から見たアジア 現代アジア社会の諸問題—政治経 済・宗教・文化を中心に
兼任	助教	坂井 詩子 博士(歯学) (令和2年4月)
		ヒトの生物学
兼任	助教	相良 郁子 博士(医学) (令和2年4月)
		健康科学

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	増崎 英明 博士(医学) (令和2年4月)
		今と昔の長崎に遊ぶ
兼任	助教	右藤 友督 博士(歯学) (令和2年4月)
		審美
兼任	助教	江越 貴文 博士(歯学) (令和2年4月)
		審美
兼任	助教	小川 さやか 博士(医学) (令和2年4月)
		健康科学 教育と文化(教育相談) 教育と社会(教育相談)
兼任	助教	奥田 阿子 修士(言語文化学) (令和2年4月)
		英語コミュニケーションⅢ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅲ 異文化比較:日本と欧米文化 English for Specific Purposes (A)
兼任	助教	利部 慎 博士(理学) (令和2年4月)
		廃棄物と土壌・地下水汚染
兼任	助教	川北 晃子 博士(歯学) (令和2年4月)
		先端医療・再生医療
兼任	助教	河野 哲也 博士(医学) (令和2年4月)
		健康科学
兼任	助教	久保 孝 博士(工学) (令和2年4月)
		科学と技術の安全・安心 環境関連法とアセスメント 有害化学物質の管理と処理
兼任	助教	限上(鈴村)麻衣 修士(文学) (令和2年4月)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解の実際
兼任	助教	黒木 唯文 博士(歯学) (令和2年4月)
		口と疾患
兼任	助教	伍 嘉誠 博士(文学) (令和2年4月)
		宗教から見たアジア 現代アジア社会の諸問題—政治経 済・宗教・文化を中心に
兼任	助教	坂井 詩子 博士(歯学) (令和2年4月)
		ヒトの生物学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	佐々木 規子 修士(医科学) <令和2年4月>
		医療現場の安全と安心
兼任	助教	佐々木 美穂 博士(歯学) <令和2年4月>
		先端医療・再生医療
兼任	助教	佐藤 俊太郎 博士(医学バイオ統計学) <令和2年4月>
		研究倫理とコンプライアンス
兼任	助教	高巢 裕之 博士(理学) <令和2年4月>
		環境と生物応答
兼任	助教	高村 敬子 博士(医学) <令和2年4月>
		Visible Human Body
兼任	助教	DATZMAN BRIEN ROBERT 修士(TEFL)(英国) <令和2年4月>
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	助教	立石 洋平 博士(医学) <令和2年4月>
		脳神経の病気
兼任	助教	田中 貴子 博士(医学) <令和2年4月>
		人の健康について
兼任	助教	TOET RUDY 修士(文学) <令和2年4月>
		世界のことばの多様性
兼任	助教	徳永 瑛子 修士(保健学) <令和2年4月>
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	助教	永江 誠治 博士(医学) <令和2年4月>
		社会における精神健康 青年期の健康・体力増進
兼任	助教	中川 武弥 学士(理学) <令和2年4月>
		エピジェネティクス
兼任	助教	NURGALIYEVA LYAILYA 博士(国際社会文化学) <令和2年4月>
		国際関係論 現代アジア社会の諸問題—政治経済・宗教・文化を中心に
兼任	助教	BERNICK PETER JOHN 修士(Social Work)(米国) <令和2年4月>
		教育と文化(教育相談) 教育と社会(教育相談)
兼任	助教	橋爪 可織 修士(看護学) <令和2年4月>
		仕事と健康

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	佐々木 規子 修士(医科学) <令和2年4月>
		医療現場の安全と安心
兼任	助教	佐々木 美穂 博士(歯学) <令和2年4月>
		先端医療・再生医療
兼任	助教	佐藤 俊太郎 博士(医学バイオ統計学) <令和2年4月>
		研究倫理とコンプライアンス
兼任	助教	高巢 裕之 博士(理学) <令和2年4月>
		環境と生物応答
兼任	助教	高村 敬子 博士(医学) <令和2年4月>
		Visible Human Body
兼任	助教	DATZMAN BRIEN ROBERT 修士(TEFL)(英国) <令和2年4月>
		英語コミュニケーションⅡ
兼任	助教	立石 洋平 博士(医学) <令和2年4月>
		脳神経の病気
兼任	助教	田中 貴子 博士(医学) <令和2年4月>
		人の健康について
兼任	助教	TOET RUDY 修士(文学) <令和2年4月>
		世界のことばの多様性
兼任	助教	徳永 瑛子 修士(保健学) <令和2年4月>
		特別な支援を必要とする子どもの理解
兼任	助教	永江 誠治 博士(医学) <令和2年4月>
		社会における精神健康 青年期の健康・体力増進
兼任	助教	中川 武弥 学士(理学) <令和2年4月>
		エピジェネティクス
兼任	助教	NURGALIYEVA LYAILYA 博士(国際社会文化学) <令和2年4月>
		国際関係論 現代アジア社会の諸問題—政治経済・宗教・文化を中心に
兼任	助教	BERNICK PETER JOHN 修士(Social Work)(米国) <令和2年4月>
		教育と文化(教育相談) 教育と社会(教育相談)
兼任	助教	橋爪 可織 修士(看護学) <令和2年4月>
		仕事と健康

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 助教	助教	畑山 実 博士(医学) <令和2年4月>
		脳の成り立ちと働き
兼任 助教	助教	久松 徳子 博士(歯学) <令和2年4月>
		食の科学
兼任 助教	助教	平瀬 達哉 博士(医学) <令和2年4月>
		障害体験と支援
兼任 助教	助教	藤山 理恵 博士(歯学) <令和2年4月>
		ヒトの生物学
兼任 助教	助教	藤原 雄介 博士(薬学) <令和2年4月>
		研究倫理とコンプライアンス
兼任 助教	助教	BENOM CAREY SCOTT Ph. D (言語学) (米国) <令和2年4月>
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ
兼任 助教	助教	本多 直子 修士(看護学) <令和2年4月>
		青年期の健康・体力増進
兼任 助教	助教	松坂 雄亮 学士(医学) <令和2年4月>
		地域文化と保健医療
兼任 助教	助教	松永 隼人 博士(薬学) <令和2年4月>
		脳の成り立ちと働き
兼任 助教	助教	山下 龍 M. A (日本語・日本文化学(オランダ)) <令和2年4月>
		オランダの言語 オランダの文化
兼任 助教	助教	横尾 誠一 修士(看護学) <令和2年4月>
		老いと健康
兼任 助教	助教	吉村 俊祐 博士(医学) <令和2年4月>
		脳神経の病気
兼任 講師	講師	阿南 重幸 学士(文学) <令和2年4月>
		解放講座

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 助教	助教	畑山 実 博士(医学) <令和2年4月>
		脳の成り立ちと働き
兼任 助教	助教	久松 徳子 博士(歯学) <令和2年4月>
		食の科学
兼任 助教	助教	平瀬 達哉 博士(医学) <令和2年4月>
		障害体験と支援
兼任 助教	助教	藤山 理恵 博士(歯学) <令和2年4月>
		ヒトの生物学
兼任 助教	助教	藤原 雄介 博士(薬学) <令和2年4月>
		研究倫理とコンプライアンス
兼任 助教	助教	BENOM CAREY SCOTT Ph. D (言語学) (米国) <令和2年4月>
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ
兼任 助教	助教	本多 直子 修士(看護学) <令和2年4月>
		青年期の健康・体力増進
兼任 助教	助教	松坂 雄亮 学士(医学) <令和2年4月>
		地域文化と保健医療
兼任 助教	助教	松永 隼人 博士(薬学) <令和2年4月>
		脳の成り立ちと働き
兼任 助教	助教	山下 龍 M. A (日本語・日本文化学(オランダ)) <令和2年4月>
		オランダの言語 オランダの文化
兼任 助教	助教	横尾 誠一 修士(看護学) <令和2年4月>
		老いと健康
兼任 助教	助教	吉村 俊祐 博士(医学) <令和2年4月>
		脳神経の病気
兼任 助教	助教	山下 恭徳 博士(歯学) <令和2年4月>
		健康科学
兼任 助教	助教	夏田 昌子 学士(医学) <令和2年4月>
		健康科学
兼任 講師	講師	阿南 重幸 学士(文学) <令和2年4月>
		解放講座

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊東 昌子 博士(医学) (令和2年4月)
		ボランティアを通して地域を知る 自分のキャリアを考える講座～男女 共同参画とダイバーシティの視点から～
兼任	講師	岩下(春口) 真澄 博士(教育学) (令和2年4月)
		日本事情
兼任	講師	太田 久 学士(農学) (令和2年4月)
		平成長崎塾
兼任	講師	大森 万理子 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理
兼任	講師	岡林 浩嗣 博士(学術) (令和2年4月)
		研究倫理とコンプライアンス
兼任	講師	小原 達朗 修士(体育学) (令和2年4月)
		生徒・進路指導論
兼任	講師	片峰 茂 医学博士 (令和2年4月)
		ヒトの生物学
兼任	講師	加藤 雅彦 博士(工学) (令和2年4月)
		ネットワークセキュリティ
兼任	講師	河合 正晃 博士(工学) (令和2年4月)
		安全工学
兼任	講師	草野 舞 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理
兼任	講師	国武 雅子 博士(学術・文学) (令和2年4月)
		平和講座
兼任	講師	篠崎 正人 高等学校卒 (令和2年4月)
		平和講座
兼任	講師	副島 正純 中学校卒 (令和2年4月)
		キャリア入門
兼任	講師	高橋 正克 薬学博士 (令和2年4月)
		平成長崎塾 生物の科学
兼任	講師	塚野 慧星 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊東 昌子 博士(医学) (令和2年4月)
		ボランティアを通して地域を知る 自分のキャリアを考える講座～男女 共同参画とダイバーシティの視点から～
兼任	講師	大森 万理子 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理
兼任	講師	岡林 浩嗣 博士(学術) (令和2年4月)
		研究倫理とコンプライアンス
兼任	講師	小原 達朗 修士(体育学) (令和2年4月)
		生徒・進路指導論
兼任	講師	片峰 茂 医学博士 (令和2年4月)
		ヒトの生物学
兼任	講師	加藤 雅彦 博士(工学) (令和2年4月)
		ネットワークセキュリティ
兼任	講師	河合 正晃 博士(工学) (令和2年4月)
		安全工学
兼任	講師	草野 舞 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理
兼任	講師	国武 雅子 博士(学術・文学) (令和2年4月)
		平和講座
兼任	講師	篠崎 正人 高等学校卒 (令和2年4月)
		平和講座
兼任	講師	高橋 正克 薬学博士 (令和2年4月)
		平成長崎塾 生物の科学
兼任	講師	塚野 慧星 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飛奈 美耶子 修士(体育学) (令和2年4月)
		スポーツ演習
兼任	講師	中村 桂子 修士(学術) (令和2年4月)
		日本語上級Ⅱa
兼任	講師	中村 文子 博士(学術・文学) (令和2年4月)
		文字と社会
兼任	講師	西津 佐和子 修士(法学) (令和2年4月)
		日本国憲法 市民社会と法
兼任	講師	船原 将太 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理
兼任	講師	松田 安昌 博士(理学) (令和2年4月)
		経営管理 産業経済学
兼任	講師	溝部 エリ子 専門職修士(経営修士) (令和2年4月)
		日本語上級Ⅱb
兼任	講師	諸星 彰三 博士(工学) (令和2年4月)
		工学倫理

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	飛奈 美耶子 修士(体育学) (令和2年4月)
		スポーツ演習
兼任	講師	中村 桂子 修士(学術) (令和2年4月)
		日本語上級Ⅱa 日本事情
兼任	講師	中村 文子 博士(学術・文学) (令和2年4月)
		文字と社会
兼任	講師	西津 佐和子 修士(法学) (令和2年4月)
		日本国憲法 市民社会と法
兼任	講師	船原 将太 修士(教育学) (令和2年4月)
		教育原理
兼任	講師	松田 安昌 博士(理学) (令和2年4月)
		経営管理 産業経済学
兼任	講師	溝部 エリ子 専門職修士(経営修士) (令和2年4月)
		日本語上級Ⅱb
兼任	講師	諸星 彰三 博士(工学) (令和2年4月)
		工学倫理
兼任	講師	松尾 辰樹 博士(医学) (令和2年4月)
		健康科学
兼任	講師	知識 茂雄 学士(理学) (令和2年4月)
		キャリア入門
兼任	講師	Melissa MACALALAD 修士(建築工学) (令和2年4月)
		英語コミュニケーションⅠ
兼任	講師	Jacobs Nyree 修士(TESOL) (令和2年4月)
		英語コミュニケーションⅠ
兼任	講師	坂本 彩希絵 修士(文学) (令和2年4月)
		ドイツ語Ⅰ
兼任	講師	周 国強 博士(中国近・現代文学) (令和2年4月)
		中国語Ⅰ
兼任	講師	胡 振剛 学士(日本語学) (令和2年4月)
		中国語Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	寺井 清宗 修士(農学) <令和2年4月>
		平成長崎塾
兼任	講師	永谷 研一 <令和2年4月>
		経験学習実践論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【専任教員関連】

- ・他大学転出のため山口尚哉助教が就任辞退。後任の加葉田雄太郎助教が令和2年6月1日に就任。
- ・荒井研一助教が准教授へ昇任。
- ・伊藤宗平准教授，鈴木郁美准教授，松本拓高准教授の3名が新規就任。

【兼任・兼任教員関連】

- ・教養教育科目の廃止及び担当教員の見直しにより，小松悟准教授（兼任），相良郁子助教（兼任），岩下（春口）真澄助教（兼任），太田久講師（兼任），副島正純講師（兼任）が辞任。
- ・教養教育科目の新設及び担当教員の見直しにより，上條由紀子教授（兼任），山下淳司教授（兼任），北浦剛資教授（兼任），木下裕久准教授（兼任），吉良史明准教授（兼任），鈴木齊講師（兼任），増崎英明講師（兼任），山下恭徳助教（兼任），夏田昌子助教（兼任），松尾辰樹講師（兼任），知識茂雄講師（兼任），Melissa MACALALAD講師（兼任），Jacobs Nyree講師（兼任），坂本彩希絵講師（兼任），周国強講師（兼任），胡振剛講師（兼任），寺井清宗講師（兼任），永谷研一講師（兼任）が就任。

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	9	—	6	25	—	10	13	—	3	26	—
(10)	(9)	(—)	(5)	(24)	(—)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	14	—	6	30	—	11	15	—	6	32	—
[—]	[5]	[—]	[0]	[5]	[—]	[1]	[6]	[—]	[0]	[7]	[—]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{25} = \boxed{120} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{26} = \boxed{3.84} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	山口 尚哉	R2.3	必修	微分積分学Ⅰ	①	R2.3他大学転出のため就任辞退（2）			
				選択	情報数学Ⅰ	①				
				選択	情報数学Ⅱ	①				
合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）			後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{25} = \boxed{4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>開設時まで、担当者を変更したため、学生の履修上の影響は無かった。 また、開講時期がR3年度後期のため、学生の履修上の影響は無かった。 なお、就任前に就任辞退した専任教員(助教)の後任は、令和2年6月に着任予定である。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	<p>【3】アドミッションポリシー①「情報の収集、伝達、整理・分析、加工・提示に関する基礎的な知識又は技能を有する」を満たしていることについて、「高等学校の調査書における情報科目の履修状況により確認する」と説明しているが、受験生にとって不利益とならないよう「入学者選抜において、調査書を確認する」ということを募集要項で明記するとともに、周知等を行う場合は十分留意すること。</p>	<p>「令和2年度（2020年度）学生募集要項」（別紙資料）において、情報データ科学部のアドミッションポリシーとともに選抜に関する別表に調査書を明記し周知を行った。</p>	<p>遵守事項</p> <p>履行済</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報データ科学部 情報データ科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当事項なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・長崎大学情報データ科学部教授会を設置
- ・情報データ科学部の各種委員会として教務委員会を設置。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・長崎大学情報データ科学部教授会
定例：毎月第3水曜日に開催（4月15日開催 構成員23人中22人出席）
- ・長崎大学情報データ科学部教務委員会
定例開催予定（月1回程度）。

c 委員会の審議事項等

授業の改善に関して、企画、立案、実施、調整等を行う。

② 実施状況

a 実施内容

情報データ科学部FD

第一部 情報データ科学部教職員FD1

1. 情報データ科学部の概要（学部長）
2. 国際交流・研究関係（副学部長）
3. 教務関係（副学部長）
4. 初年次セミナー（初年次セミナー担当教員）

第二部 新任教員FD2

1. 長崎大学のネットワーク環境（ネットワーク担当教員）
2. 事務手続き（事務職員）

b 実施方法

講義室に教員及び関係事務職員が参集し、各項目について、学部長、副学部長及び担当教員等が説明を行い、質疑応答を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年4月2日に、全教員を対象とした学部FDを開催し、教員26名のうち25名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学部開設1年目であるため、授業改善への取組状況等に係るFDは、令和2年度中に実施する予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

未実施（令和2年度中に実施予定）

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教務委員会、教授会で報告するとともに、学部ホームページ等で公表する。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨、目的の実現に向けて取り組んでいく。入学者は、定員110名のところ、6名多い116名入学し、内訳として一般入試前期日程83名、後期日程13名、特別入試（推薦入試、外国人留学生入試）20名であった。今後も積極的な広報活動や高校訪問を実施し、志願者を増加させ、優秀な学生の獲得を目指す。

② 自己点検・評価報告書

令和2年度中に、学部の管理運営、教育、研究、国際及び社会貢献等について自己点検を実施し、当該内容について学外有識者による評価を実施し、その結果をホームページで公表するとともに、次年度以降の教育研究の改善に活かす。

a 公表（予定）時期

・令和3年3月 公表予定

b 公表方法

・学部ホームページ上で公開予定（令和3年3月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。